

論題	神奈川県庁所蔵四代目神奈川県庁舎実施設計図とその内容について
著者	丹治雄一
掲載誌	神奈川県立博物館研究報告—人文科学— 第41号
ISSN	0910-9730
刊行年月	2014年（平成26年）10月
判型	A4（210mm × 297mm）

【研究ノート】

神奈川県庁所蔵四代目神奈川県庁舎
実施設計図とその内容について

丹治雄一

【キーワード】

四代目神奈川県庁舎 神奈川県庁舎建築事務所 実施設計図
佐野利器 桑原栄治 渡邊利雄 池部宗薫

【要旨】

本稿は、四代目神奈川県庁舎（現神奈川県庁本庁舎）の建設に際して、神奈川県内務部神奈川県庁舎建築事務所が作成した実施設計図のうち、神奈川県庁が所蔵し神奈川県立歴史博物館が保管している現存図面二二〇点の整理過程を紹介し、完成版目録を公開するとともに、これらの図面の記載内容について若干の考察を加えたものである。

四代目県庁舎の実施設計は、一九二六（大正一五）年に実施された設計競技（コンペ）で一等当選した小尾嘉郎の案をもとに、鳥井信・桑原栄治の歴代神奈川県庁舎建築事務所所長と建築顧問佐野利器の指導のもと、意匠図は渡邊利雄と濱田義男、構造図は池部宗薫を中心に設計が進められた。

現存する二二〇点の図面群は、主要室をはじめとする各室の詳細な図面も現存する良質な資料群で、四代目神奈川県庁舎の建築を知る上で最も基本となる極めて重要な資料であることが確認された。

はじめに

四代目神奈川県庁舎（現神奈川県庁本庁舎）は、小尾嘉郎おびかろうのコンペ一等当選案をもとに神奈川県庁舎建築事務所が実施設計を行なった。一九二八（昭和三）年一〇月三十一日に竣工した建物である。小尾が五重塔をモチーフに設計したとされる建物のシンボルの塔屋は、「キングの塔」と通称され、神奈川県を代表する近代建築のひとつとして、また港町横浜のシンボルとして、多くの県民・市民に親しまれている。

本稿は、この「キングの塔」をいただく四代目神奈川県庁舎の建設に際して、神奈川県内務部神奈川県庁舎建築事務所が作成した実施設計図のうち、神奈川県庁（神奈川県総務局財産経営部庁舎課）が所蔵し、現在神奈川県立歴史博物館にて保管されている二二〇点の図面の整理過程と完成版目録を報告するとともに、それぞれの図面の記載内容について若干の考察を加えたものである。

これらの図面群は、筆者が担当して二〇一三（平成二五）年七月二〇日から九月一六日にかけて神奈川県立歴史博物館で開催した特別展『キングの塔』誕生！ ―神奈川県庁本庁舎とかながわの近代化遺産―で初公開するまでは、神奈川県職員のごく一部にしかその存在を知られていない資料であった。同展では平面図・立面図・主要室の詳細図等二四点の図面を展示し、あわせて発行した特別展図録に現存する二二〇点の図面の目録を収録したが、図録に掲載した目録は本図面群の調査を進める「出発点」と位置づけたものであった¹。本稿をなすにあたり、図録掲載時には準備期間と紙幅の制約で果たせなかった各図面の「主任」「製図」等の担当者印とサインに関する詳細な調査を行うことができ、また目録の配列を再整理する必要も生じたため、これまでの整理過程

を紹介し、図録掲載時の目録の加筆・修正を行い、完成版の目録を公開することが本稿の第一の目的である。さらに、本図面群を詳細に調査する過程で明らかとなったいくつかの論点について検討を加えるのが、本稿の第二の目的である。

四代目神奈川県庁舎に関わる既往の研究としては、まず都道府県庁舎建築の歴史を通覧した石田潤一郎氏の研究を挙げることができるが、石田氏は四代目県庁舎の詳細な考察を大村巳代治氏による同時代の研究³⁾や、神奈川県が発行した記念誌などに委ねており、大正後期および昭和戦前期創建の府県庁舎建築を俯瞰的に分析するなかで、その時代的特質に言及するにとどめている。また、四代目県庁舎に特化した研究として、四代目を含む歴代の神奈川県庁舎建築とその担い手である神奈川県の営繕組織について、近年精力的に研究を行っている神奈川県職員OBの佐藤嘉明氏による一連の研究がある。佐藤氏はここで四代目県庁舎を施工した大林組に保存されていた実施設計図のマイクロフィルムをもとに、一部の図面について本稿と同様の関心から、図面担当者の考察を行って、いるがその内容は概括的である。一方で、本稿の問題関心と同様の視点で個別の図面を分析した研究として、瀬口哲夫氏の愛知県庁舎（一九三八年竣工）に関する研究が挙げられる。本稿で瀬口氏の分析手法に学びつつ、これまでの研究で取り上げられることのなかった本図面群の検討を行うことは、四代目神奈川県庁舎建築に関する研究の実証精度を高めることに貢献するものだと考えている。

一 四代目県庁舎実施設計図目録とその整理作業の概要について

神奈川県庁本庁舎には、一九二六（大正一五）年に実施された設計競技（コンペ）で一等当選した小尾嘉郎案をもとに、県庁舎建築事務所が

作成した四代目神奈川県庁舎の実実施設計図の原図が現存している。これらの図面群は、かつて神奈川県が建物の「還暦」を記念して発行した印刷物において、そのごく一部が図版として使用されたことはあるものの、使用された図面の名称等の基本情報は記載されておらず、その概要を知ることではできなかった資料である。筆者は、二〇一一（平成二三）年より県庁本庁舎の倉庫内に保管されていたこれらの図面群の整理作業に従事してきた。本節では、筆者が二〇一一年度から二〇一三年度にかけて断続的に行った整理作業の概要を紹介したい。

整理作業では、まず二〇一一年五月から六月にかけて仮整理作業を実施した。この仮整理作業においては、倉庫内で筒ないし包紙によりいくつかのかたまりに分けて丸めて保管されていた状態を本図面群の現状として、丸めて保管されていた単位ごとに「仮1」のような仮整理用の番号（親番号）を付与し、その筒内などに丸めて収納されていた図面一点ごとに子番号を与えて「仮1・1」のような仮番号を付与する、いわゆる現状記録方式に基づく整理を行った。整理着手時の収納単位ごとの現状と収納状況は次のとおりである。

- 仮1 丸筒（表書「県庁本庁舎駐車場平面図（第二原図）」内に収納され、包紙（表書「本庁舎北 車庫 一般図 構造図」）・ひもで一括された「自動車々庫設計図」ほか 計 七点
- 仮2 角筒（表書「本庁舎詳細図 原図」内に別個に丸めて収納された二組の図面
- 仮2・1 「二階乃至五階南北便所詳細」ほか一括（包紙なし）

計 一一点

仮2・2 「二階中央広間詳細（床並天井伏）」ほか一括（包紙なし）

- し) 計 七点
- 仮3 プラスチック筒(表書「本庁舎詳細図 原図」)内に別個にゼムクリップでまとめられ丸めて収納された四組の図面
- 仮3・1 ゼムクリップで一括された「地階中央階段詳細」ほか 計 二九点
- 仮3・2 ゼムクリップで一括された「火夫室石炭庫汽罐室(詳細図)」ほか 計 五点
- 仮3・3 ゼムクリップで一括された「二階外部正面車寄詳細」ほか 計 一七点
- 仮3・4 ゼムクリップで一括された「一階正面玄関詳細」ほか 計 一八点
- 仮4 包紙(表書「本庁舎鉄筋コンクリート詳細図」)で一括された「煙道配筋図」ほか 計 二七点
- 仮5 「門及塀設計図 其二」ほか一括(包紙なし) 計 四点
- 仮6 「神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図 第二階平面」ほか一括(包紙なし) 計 一三點
- 仮7 包紙(表書「本庁舎鉄骨詳細図」)で一括された「取附並柱底範例 第壹地階梁 其一」ほか 計 一五點
- 仮8 包紙(表書「本庁舎構造図 大正十五年」)で一括された「基礎平面図」ほか 計 三四點
- 仮9 「図面リスト」ほか一括(包紙なし) 計 二七點
- 仮10 包紙(表書「本庁舎 給排水図 昭二年」)で一括された「電灯及電話並排給水其他工事主管通過路穴詳細」ほか 計 一六點

総計 一三〇点

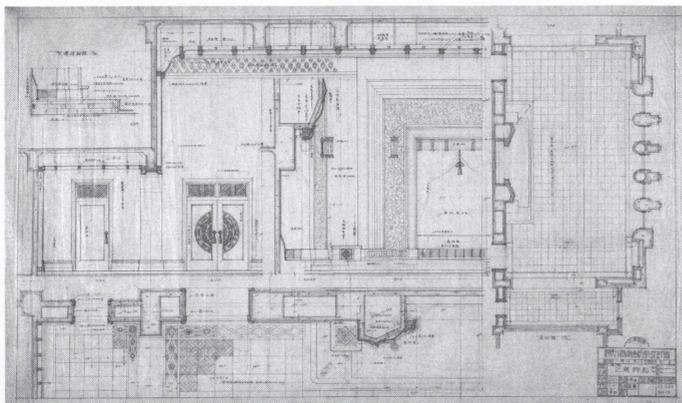


図 1-1 四階正庁詳細 S1/20 1/50 (目録No. 137)

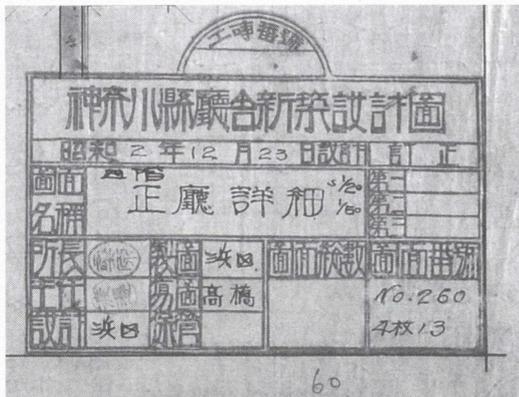


図 1-2 図 1-1 部分拡大細 (目録No. 137)

この仮整理により、本図面群が総点数二三〇点を数える図面群であることが把握されたのである。なお、この点数は現存している図面の総数であり、現存が確認されていない図面を含めた総数を明らかにすることはできないが、図面に付された番号等から判断すると、すでに失われた図面を含む本図面群の総点数は四〇〇点を上回るのではないかと思われる。以上のような仮番号の付与に引き続き、付与した仮番号順に図面に捺されたスタンプ部分に記載された「図面名称」「図面番号」、作成年月日などの情報(図1・1・1・1・2参照)と、計測した各図面の寸法や状態等を記載した「仮目録」を作成した。なお、これらの仮整理を実施した翌年の二〇一二(平成二四)年度より、本図面群は神奈川県立歴史博物館が借用して保管することとなり現在に至っている。

次に、二〇一三（平成二五）年五月に、前述した特別展「キングの塔誕生！」展の準備作業の一環として、スタンプ部分に記載された「図面番号」を手がかりとして、現存している「図面リスト」（表1、目録番号1、本図面は「図面名称」欄に名称の記載がなかったため、筆者が付した名称を「」内に記載した）に「図面番号」と名称の記載がある図面（表1、目録番号2～59）、それに続くと思われる「図面番号」が付された詳細図等（同60～170）、構造図（同171～212）、設備図（同213～221）、付属家と塀などの図面（同222～230）の順に各図面の再配列を行った「本目録」を作成した。これは前述のとおり、仮整理に続く本整理の「第一段階（出発点）」と位置づけられるもので、「キングの塔誕生！」展の際に発行した特別展図録に収録したのはこの目録であった。

最後に、二〇一四（平成二六）年二月から三月にかけて、「キングの塔誕生！」展準備時に作成した「本目録」をベースとしつつ、図面の番号の並べ替えと、スタンプ部分にある各図面の「主任」「製図」等の担当者との印とサインに関する記載情報等の追加などを行った。この整理作業は本整理の第二段階、すなわち最終整理として実施したもので、この最終整理終了段階の完成版目録が表1となる。各図面の担当者の印やサインに関する記載情報の追加以外に、この本整理第二段階で図面の番号変更を行ったが、その内容は以下のとおりである。

① 特別展図録掲載目録番号（表1の「キング番号」に該当、以下単に「キング番号」と表記する）156「一階外部正面車寄詳細」はスタンプの「図面番号」欄が欠損していたため、本整理第一段階では「図面番号」不詳の図面として「図面番号」判明資料のあとに配置しNo.156としたが、残存図面と図面の名称から判断して「図面番号 211 3枚ノ2」の図面と考えられるため、本整理第二段階では目録番号82に変更した。同じく「キン

グ番号」157「一階正面玄関詳細」も「図面番号」欄が欠損していたため、本整理第一段階では「キング番号」156と同様「図面番号」不詳の図面として「図面番号」判明資料のあとに配置したが、図面の名称と残存図面から判断して「212 2枚之1」と考えられるため、目録番号84とした。②「キング番号」158～163の平面図六点と同164～170の平面図七点は、第三節で行った検討により、「キング番号」164～170の平面図の方が作成年代が古いと判断されたため、「キング番号」158～163の平面図と順番を入れ替えた。③「キング番号」154「特別照明器具」（昭和三年三月三日付）および同155の「特別照明器具」（昭和三年三月一日付）を作成年月日順に入れ替えた。これらの図面の目録上での並べ替えを行ったことにより、表1に見られるように「キング番号」82から170の図面の目録番号が変更されることとなった。なお、最終整理で目録に追加した各図面の「主任」「製図」等の担当者の印とサインに関する記載情報については、次節で詳述することとしたい。

以上概要を述べたように、本図面群は二〇一一年度から二〇一三年度にかけて、①仮整理、②本整理（第一段階）、③本整理（第二段階）の過程を経て順次整理を進めたものであった。

二 印とサインにもとづく図面作成に関係した人物の特定について

本節では、本稿作成にあたって行った本整理第二段階における詳細調査で記録化した図面の作成に関わる情報を分析する。

本図面群の大部分には図面の名称や作成年月日等の情報を記載するためのスタンプが捺されており、そのスタンプには「所長」「主任」「設計」「製図」「写図」「保管」の各担当者が押印ないし署名することができるスペースが設けられていた（図1・1・1・2）。これら各欄にはその図面

に関与した担当者の印およびサインが確認され、既述のとおり四代目県庁舎研究の第一人者である佐藤嘉明氏も、同建物を施工した大林組に保存されていた実施設計図のマイクロフィルムを利用して一部の図面の署名欄の分析を行っている。以下、現存する二三〇点の図面の判読可能な印とサインをすべて目録化し収録した表1にもとづき、各図面の作成年代と「所長」欄に捺された鳥井信・桑原栄治の二名の県庁舎建築事務所長の交代時期や、「主任」「設計」「製図」「写図」欄の印とサインの情報から、各担当者の図面ごとの割り振り等について考察を進めることとしたい。なお、「保管」欄には担当者の押印ないし署名が一点も確認されなかつたため、表1では記載を省略した。

考察に入る前に、図面中の印ないしサインの人物を特定するために利用した、当該期の「神奈川県職員録」に掲載された県庁舎建築事務所の名簿を以下に引用する。同所設置から県庁舎竣工までに発行された「職員録」のうち現存が確認されるのは、追録を含めて三冊である。これらの名簿から、神奈川県庁舎建築事務所はコンペが終了し実施設計に着手した時期から職員を増員し、一九二八（昭和三）年五月四日の定礎式直前の時期が人員体制のピークであったことが推察されよう。また、一九二六（大正一五年）十一月三日現在の「職員録追録」には、東京市電気局を退職し、同年一〇月九日付で神奈川県に採用されたコンペ一等当選者小尾嘉郎が建築技手の筆頭に置かれていることも確認される。

神奈川県職員録（大正十五年五月一日現在）

県庁舎建築事務所

所長心得 建築技師 成富又三

参与 地方技師 高田 景 参与 地方技師 鳥井 信
建築技手

兼 土木課勤務 渡邊利雄 兼 同 内海清隆
兼 同 泉浩三郎 兼 同 邪答院利光

県書記

月 七五 岩井才太郎 月 五七 市村義一

月 五五 会計課兼務 青木 偕

月 五三 知事官房文書係兼務 酒井順治

月 四五 会計兼務 山森藤松

助手

兼 杉山準三 月 四五 松中直司

月 四五 小西一満^⑨

神奈川県職員録追録（大正十五年十一月十三日現在）

県庁舎建築事務所

所長 建築技師 鳥井 信

参与 地方事務官 長岡喜一 参与 建築技師 成富又三

顧問

年三〇〇〇 佐野利器 兼 地方技師 川口一二

建築技師

年一、八〇〇 松井宗一 年一、八〇〇 渡邊利雄

年一、七〇〇 池部宗薫

建築技手

縮尺	寸法 (縦)	寸法 (横)	種別	スタンプ署名欄					大林組 所蔵	備考
				所長	主任	設計	製図	写図		
—	619	1042	原図	—	—	—	—	◎松葉	○	
[1/100]	712	1023	原図	判読不能	判読不能	判読不能	判読不能	◎うすゐ		
[1/100]	700	1002	原図	◎鳥井	判読不能	◎渡邊	◎渡邊	判読不能	○	
[1/100]	702	1019	原図	◎鳥井	判読不能	判読不能	◎渡邊	判読不能	○	
[1/100]	701	1008	原図	◎鳥井	判読不能	◎渡邊	◎渡邊	◎松葉	○	
[1/100]	700	1010	原図	◎鳥井	判読不能	◎渡邊	◎渡邊	◎亀田	○	
[1/100]	585	1008	原図	◎鳥井	◎松井	◎渡邊	◎渡邊	判読不能	○	
1/100	586	1018	原図	◎鳥井	◎松井	◎渡邊	◎小尾	◎松葉	○	スタンプ「製図」欄に小尾嘉郎のサイン有
[1/100]	594	990	原図			スタンプなし				「図面番号9」の図面か
[1/100]	617	1010	原図			スタンプなし				「図面番号10」の図面か
[1/100]	578	995	原図			スタンプなし				「図面番号11」の図面か
[1/100]	590	1016	原図	◎鳥井	判読不能	◎渡邊	◎浜田	判読不能	○	
[1/100]	588	1012	原図	◎鳥井	◎松井	◎渡邊	◎ワダ	◎高橋	○	
[1/100]	606	1010	原図	◎鳥井	◎松井	◎渡邊	◎ワダ	◎高橋	○	
1/200	589	1016	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎池部	判読不能		
1/50	589	1016	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎池部	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.7.5」の記載有
1/20、1/50	592	1017	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎池部	◎松葉	○	
[1/20]	589	1025	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎池部	判読不能		
1/100、1/500	591	1005	原図	判読不能	判読不能	◎二見、◎池部	◎二見、◎待山	判読不能	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.7.5」の記載有
1/100、1/500	590	1014	原図	判読不能	◎松井	◎二見、◎池部	◎二見	◎亀田		
1/100、1/500	591	1010	原図	◎鳥井	◎松井	◎二見	◎二見	◎亀田		
1/100、1/500	589	1010	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	◎松葉	○	
1/100、1/500	590	1009	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	判読不能	判読不能	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.7.6」の記載有
1/100、1/500	591	1011	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	判読不能	○	
1/100、1/500	591	1015	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	判読不能	判読不能		
[1/100]、1/500	592	1009	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎池部	◎高橋		スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.7.6」の記載有
1/100、1/500	589	1010	原図	◎鳥井	◎松井	判読不能	判読不能	◎松中	○	
1/100、1/500	591	1011	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	判読不能	◎松葉	○	
1/100、1/500	590	1010	原図	◎鳥井	◎松井	判読不能	判読不能	◎亀田		
1/100、1/500	590	977	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	判読不能		
1/100、1/500	610	1016	原図	◎鳥井	◎松井	◎二見	◎二見	◎亀田		
1/200	593	1013	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	◎松葉	○	
1/200	590	1012	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	◎松葉		
1/200	592	1012	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	◎松葉		
[1/20]	591	1012	原図	判読不能	判読不能	判読不能	判読不能	◎亀田		
[1/20]	591	1013	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎広田	判読不能		
[1/20]	595	1013	原図	◎鳥井	◎松井	判読不能	◎広田	判読不能	○	
1/200	590	1012	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	◎松葉	○	
—	592	1013	原図	◎鳥井	◎松井	◎川口	◎待山	判読不能	○	
[1/100]	637	998	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	◎亀田	○	
—	590	1010	原図	◎鳥井	◎松井	◎川口	◎待山	◎亀田	○	
[1/20]	591	1012	原図	◎鳥井	◎松井	◎川口	判読不能	判読不能	○	
[1/100]	638	1010	原図	◎鳥井	判読不能	◎池部	◎待山	判読不能	○	
—	592	1012	原図	◎鳥井	判読不能	◎川口	判読不能	◎松中		
—	591	1012	原図	◎鳥井	◎松井	◎川口	◎待山	◎松葉	○	
[1/200]	590	1012	原図	◎鳥井	◎松井	判読不能	◎待山	判読不能	○	
[1/100]	590	1009	原図	◎鳥井	判読不能	◎池部	◎待山	◎亀田	○	
1/100	590	1011	原図	◎鳥井	◎松井	◎池部	◎待山	判読不能	○	
[1/20]	590	1013	原図	◎鳥井	◎松井	◎渡邊	◎渡邊	◎松葉		
[1/20]	589	1012	原図	◎鳥井	判読不能	◎渡邊	◎渡邊	判読不能		
—	592	1022	原図	—	◎松井	◎渡邊	—	—	○	
—	594	1027	原図	—	◎松井	◎渡邊	—	◎松葉	○	
—	593	1025	原図	—	◎松井	◎渡邊	—	◎松葉	○	
—	589	1026	原図	—	判読不能	判読不能	—	—	○	
—	593	1025	原図	—	◎松井	◎渡邊	—	◎松葉	○	
—	590	1026	原図	—	判読不能	◎渡邊	—	—	○	
—	590	1020	原図	—	—	—	—	◎松葉		58と同一内容
—	595	1025	原図	—	—	◎渡邊	—	判読不能	○	57と同一内容
[1/20]	594	1013	原図	◎とりゐ	◎松井	◎渡邊	◎和田	◎松中	○	
[1/20]	592	1015	原図	—	—	—	—	◎松中	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に判読不能印有
[1/20]	587	1015	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	判読不能	◎亀田	○	
[1/20]	593	1013	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	—	◎亀田	○	
[1/20]	600	1000	原図	—	—	—	◎高橋、◎碓井	◎亀田	○	
[1/20]	590	1005	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎亀田	○	
[1/20]	516	672	原図	判読不能	判読不能	—	◎松葉	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
[1/20]、[1/100]	589	1015	原図	判読不能	◎渡邊	◎渡邊	◎松葉	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に判読不能印有
[1/20]	509	670	原図	判読不能	◎桑原	◎桑原	◎ウス	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	514	681	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎うすゐ	◎松中	○	
1/20	496	665	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎松葉	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20、[1/50]	497	669	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎松葉	◎亀誠	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	549	726	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎松葉	◎松葉	○	
1/20、1/50	512	670	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎和田	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20、1/100	515	673	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎濱田	◎松中	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/5、1/20	523	678	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	判読不能	◎松中	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/1、1/20	516	672	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	517	673	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎松中	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	505	668	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎松中	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20	505	666	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	判読不能	◎松中	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20	331	503	原図	◎桑原	◎渡邊	◎池部	◎たかはし	判読不能	○	
1/20、1/50	598	1015	原図	◎桑原	◎渡邊	◎浜田	◎松葉	◎松葉	○	
1/20	520	684	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎濱田	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20	587	1004	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎和田	◎松中	○	「No.211 3枚/2」か
1/2、1/20、1/50	528	694	原図	◎桑原	◎渡邊	◎浜田	◎浜田	◎松葉	○	
1/20、1/50	585	1005	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎濱田	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	510	675	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎濱田	◎亀田	○	スタンプ「訂正」「第一」欄に「渡邊」印有

表1 四代目神奈川県庁舎実施設計図目録

目録番号	キング番号	仮整理番号	図面番号	図面名称	作成年代
1	1	仮9-1	記載なし	[図面リスト]	記載なし
2	2	仮9-2	1	平面図 (第壹階)	大正15年11月30日 (1926年)
3	3	仮9-3	3	平面図 (第貳階)	大正15年11月30日 (1926年)
4	4	仮9-4	4	平面図 (第參階)	大正15年11月30日 (1926年)
5	5	仮9-5	5	平面図 (第四階)	大正15年11月30日 (1926年)
6	6	仮9-6	6	平面図 (第五階)	大正15年11月30日 (1926年)
7	7	仮9-7	7	平面図 (屋根及階段室並塔屋第六階)	大正15年11月30日 (1926年)
8	8	仮9-8	8	平面図 (塔屋)	大正15年11月30日 (1926年)
9	9	仮9-9	記載なし	[正面立面図]	記載なし
10	10	仮9-10	記載なし	[西側立面図]	記載なし
11	11	仮9-11	記載なし	[南側立面図]	記載なし
12	12	仮9-12	14	断面図 (内庭横断面)	大正15年11月30日 (1926年)
13	13	仮9-13	15	断面図 (室内横断面)	大正15年11月30日 (1926年)
14	14	仮9-14	16	断面図 (内庭縦断面)	大正15年11月30日 (1926年)
15	15	仮8-1	17	基礎平面図	大正15年11月30日 (1926年)
16	16	仮8-2	18	基礎詳細図 (其之壹)	大正15年11月30日 (1926年)
17	17	仮8-3	19(イ)	基礎詳細図 (其之貳)	大正15年11月30日 (1926年)
18	18	仮8-4	19(ロ)	基礎詳細図 (其之參)	大正15年11月30日 (1926年)
19	19	仮8-5	20	鉄骨軸部之図 (其之壹)	大正15年11月30日 (1926年)
20	20	仮8-6	21	鉄骨軸部之図 (其之貳)	大正15年11月30日 (1926年)
21	21	仮8-7	22	鉄骨軸部之図 (其之參)	大正15年11月30日 (1926年)
22	22	仮8-8	23	鉄骨軸部之図 (其之四)	大正15年11月30日 (1926年)
23	23	仮8-9	24	鉄骨軸部之図 (其之五)	大正15年11月30日 (1926年)
24	24	仮8-10	25	鉄骨軸部之図 (其之六)	大正15年11月30日 (1926年)
25	25	仮8-11	26	鉄骨軸部之図 (其之七)	大正15年11月30日 (1926年)
26	26	仮8-12	27	鉄骨軸部之図 (其之八)	大正15年11月30日 (1926年)
27	27	仮8-13	28	鉄骨軸部之図 (其之九)	大正15年11月30日 (1926年)
28	28	仮8-14	29	鉄骨軸部之図 (其之拾)	大正15年11月30日 (1926年)
29	29	仮8-15	30	鉄骨軸部之図 (其之拾壹)	大正15年11月30日 (1926年)
30	30	仮8-16	31	鉄骨軸部之図 (其之拾貳)	大正15年11月30日 (1926年)
31	31	仮8-17	32	鉄骨軸部之図 (其之拾參)	大正15年11月30日 (1926年)
32	32	仮8-18	33	柱配置図 其壹 (地階及第壹階)	大正15年11月30日 (1926年)
33	33	仮8-19	34	柱配置図 其貳 (第貳、參階)	大正15年11月30日 (1926年)
34	34	仮8-20	35	柱配置図 其參 (第四、五、六、七、八九階及屋根)	大正15年11月30日 (1926年)
35	35	仮8-21	37	鉄骨柱断面表 (其式)	大正15年11月30日 (1926年)
36	36	仮8-22	38	鉄骨柱詳細図 其壹 (種別番号⑤⑦⑨ノ各種)	大正15年11月30日 (1926年)
37	37	仮8-23	39	鉄骨柱詳細図 其貳 (種別番号⑤⑦⑨ノ各種)	大正15年11月30日 (1926年)
38	38	仮8-24	40	地中梁配置図	大正15年11月30日 (1926年)
39	39	仮8-25	41	地中梁表	大正15年11月30日 (1926年)
40	40	仮8-26	42	第壹階床梁配置図	大正15年11月30日 (1926年)
41	41	仮8-27	43	第壹階床梁表 (其壹)	大正15年11月30日 (1926年)
42	42	仮8-28	44	第壹階床梁表 其貳 (附梁詳細)	大正15年11月30日 (1926年)
43	43	仮8-29	45	第貳階床梁配置図	大正15年11月30日 (1926年)
44	44	仮8-30	46	第貳階床梁表 (其壹)	大正15年11月30日 (1926年)
45	45	仮8-31	47	第貳階床梁表 (其貳)	大正15年11月30日 (1926年)
46	46	仮8-32	48	第參階床梁配置図並梁表 其壹	大正15年11月30日 (1926年)
47	47	仮8-33	54	第六階梁及主屋根梁配置図	大正15年11月30日 (1926年)
48	48	仮8-34	65	塔屋各階床版並南北西各階段室屋根版之図	大正15年11月30日 (1926年)
49	49	仮9-15	68	矩計之図 其參 (内庭側)	大正15年11月30日 (1926年)
50	50	仮9-16	69	矩計之図 其四 (内庭側)	大正15年11月30日 (1926年)
51	51	仮9-17	78	内部仕上表 (地階)	大正15年11月30日 (1926年)
52	52	仮9-18	79	内部仕上表 (第壹階)	大正15年11月30日 (1926年)
53	53	仮9-19	80	内部仕上表 (第貳階)	大正15年11月30日 (1926年)
54	54	仮9-20	81	内部仕上表 (第參階)	大正15年11月30日 (1926年)
55	55	仮9-21	82	内部仕上表 (第四階)	大正15年11月30日 (1926年)
56	56	仮9-22	83	内部仕上表 (第五階)	大正15年11月30日 (1926年)
57	57	仮9-23	84	内部仕上表 (第六、七、八、九階)	大正15年11月30日 (1926年)
58	58	仮9-24	84	内部仕上表 (第六、七、八、九階)	大正15年11月30日 (1926年)
59	59	仮9-25	86	西第二階段室詳細図 其二	大正15年11月30日 (1926年)
60	60	仮3-4-13	89	仕上詳細図 正面中央部南隅	昭和2年5月30日 (1927年)
61	61	仮3-4-14	No90	西玄関上部詳細図	昭和2年6月2日 (1927年)
62	62	仮3-4-15	No91	第五階各部隅出仕上詳細 1/20	昭和2年6月1日 (1927年)
63	63	仮3-4-16	96	議場側矩計図	昭和2年10月15日 (1927年)
64	64	仮3-4-17	其之一 97	塔屋矩計図 (其ノ一)	昭和2年11月14日 (1927年)
65	65	仮3-4-18	其ノ二 100	南北えれべた室窓割詳細	昭和2年9月7日 (1927年)
66	66	仮3-2-1	101	火夫室石炭庫汽罐室 (詳細図)	昭和2年8月15日 (1927年)
67	67	仮3-2-2	102	地階南下足置場	記載なし
68	68	仮3-2-3	135 其ノ二	正面玄関文書受付詳細図 S1/20 1/50	昭和2年8月9日 (1927年)
69	69	仮3-3-2	No200 1枚	地階第二食堂並リフト詳細 (1/20)	昭和2年9月2日 (1927年)
70	70	仮3-3-3	No201	地階調理室炊火室並炊事倉庫詳細 (S1/20)	昭和2年7月14日 (1927年)
71	71	仮3-3-4	No202	地階乃至屋階換気筒装置詳細 (S1/20 or 1/50)	昭和2年12月23日 (1927年)
72	72	仮3-3-5	No203	地階南北浴室詳細 (S.1/20 or 1/50)	昭和2年6月3日 (1927年)
73	73	仮3-3-6	No204 2枚之1	地階南北便所詳細 (S.1/20 or 1/100)	昭和2年6月6日 (1927年)
74	74	仮3-3-7	No204 2枚之2	地階南北便所詳細 (S.1/20 or 1/50)	昭和2年6月9日 (1927年)
75	75	仮3-3-8	No205	(地階) 第壹式衛生材料倉庫詳細 (S1/20 or 1/1)	昭和2年8月27日 (1927年)
76	76	仮3-3-9	No206	地階警察部小使室及湯沸場詳細 (S.1/20 or 1/50)	昭和2年7月3日 (1927年)
77	77	仮3-3-10	No207 3枚之1	地階度量衡検査室詳細 (S1/20 or 1/50)	昭和2年7月7日 (1927年)
78	78	仮3-3-11	No207 3枚之2	地階度量衡検査室詳細 (S.1/20)	昭和2年7月15日 (1927年)
79	79	仮3-3-12	No207 3枚之3	地階度量衡検査室デレツキ詳細図 S1/20	昭和2年9月12日 (1927年)
80	80	仮3-3-13	No210	正面及南面車廻シ詳細図 (S1/20 or 1/50)	昭和2年12月25日 (1927年)
81	81	仮3-2-4	No111 3枚之1	一階外部正面車寄詳細 (床石割) S1/20	昭和2年8月20日 (1927年)
82	156	仮3-3-1	欠損のため不詳	一階外部正面車寄詳細 (S.1/20)	昭和2年8月3日 (1927年)
83	82	仮3-2-5	No211 3枚ノ3	一階外部正面車寄詳細 (S1/20 1/50 or 1/2)	昭和2年12月23日 (1927年)
84	157	仮3-4-1	欠損のため不詳	一階正面玄関詳細 (S1/50 or 1/20)	昭和2年6月18日 (1927年)
85	83	仮3-3-14	No212 2枚之2	一階正面玄関詳細 (S1/20 or 1/50)	昭和2年7月19日 (1927年)

縮尺	寸法 (縦)	寸法 (横)	種別	スタンプ署名欄					大林組 所蔵	備考
				所長	主任	設計	製図	写図		
1/20	515	680	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎うすむ	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	509	670	原図	◎桑原		◎渡邊	◎うすむ	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/50	517	675	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎濱田	◎亀田		スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/200	592	1000	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎濱田	◎亀田	○	
[1/20]	589	1015	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎濱田	◎松中		スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	595	1019	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎濱田	◎松中		スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	516	672	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	511	671	原図	◎桑原		◎渡邊	◎ウス	◎亀田		スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	590	1020	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎松葉	◎松中		スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	509	668	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎濱田	◎松中		スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	502	662	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎古賀	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/50	514	670	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎松葉	◎松中	○	
1/20	520	674	原図	◎桑原		◎渡邊	◎和田	◎松中	○	
1/20、1/50	531	663	原図	◎桑原		◎渡邊	◎わだ	◎松中		スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	508	665	原図	◎桑原		◎渡邊	◎みやもと	◎亀田		
1/20、1/50、1/100	510	670	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	—	◎松中	○	
[1/20]、1/50、1/100	511	668	原図	◎桑原		◎渡邊	—	◎亀田	○	
1/20	529	681	原図	◎桑原		◎渡邊	◎うすむ	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	511	667	原図	◎桑原		◎渡邊	◎松葉	◎亀田	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	516	671	原図	◎桑原		◎渡邊	◎松葉	◎亀田	○	
1/20、1/50	514	670	原図	◎桑原	◎渡邊	—	◎松葉	◎亀田	○	
1/20	513	671	原図	◎桑原		◎渡邊	◎松葉	◎亀田	○	
[1/20]	514	675	原図	◎桑原		◎渡邊	◎うすむ	◎松中	○	
1/20	522	680	原図	◎桑原		◎渡邊	◎ウス	◎松中	○	
1/20	505	665	原図	◎桑原		◎渡邊	—	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	522	682	原図	◎桑原		◎渡邊	◎うすむ	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	519	679	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎ウス	◎亀田	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	509	671	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎ウス	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	508	667	原図	◎桑原		◎渡邊	◎わだ	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	506	672	原図	◎桑原		◎渡邊	◎ウス	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50	511	669	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎みやもと	◎亀田	○	
1/50	512	670	原図	◎桑原	◎渡邊	◎はまだ	◎はまだ	◎亀田	○	
1/20、1/50、1/100、1/200	514	679	原図	◎桑原	◎渡邊	◎浜田	◎浜田	◎亀田	○	
1/20、1/50	507	668	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎宮本	◎亀田	○	
1/20	513	665	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎みやもと	◎亀田	○	
1/20	511	668	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎みやもと	◎亀田	○	
1/20、1/50	512	667	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎みやもと	◎亀田	○	
1/20、1/50	514	670	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎みやもと	◎亀田	○	
[1/20]	515	670	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎みやもと	◎亀田	○	
1/20、1/50	521	678	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎うすむ	◎亀田	○	
1/20	507	671	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎ウス	◎亀田	○	
1/20、1/50	520	679	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎うすむ	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50、1/100	519	673	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎たかはし	◎亀田	○	
1/20、1/50	505	665	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	590	1015	原図	◎桑原	◎渡邊	◎カサイ	◎葛西	◎亀田	○	
1/20	596	1010	原図	◎桑原	◎渡邊	◎カサイ	◎葛西	◎亀田	○	
1/20	591	1006	原図	◎桑原	◎渡邊	◎カサイ	◎うすむ	◎亀田	○	
1/20	592	1015	原図	◎桑原	◎渡邊	◎カサイ	◎うすむ	◎亀田	○	
1/20	584	1002	原図	◎桑原	◎渡邊	◎カサイ	◎葛西	◎亀田	○	
1/20、1/50	591	1006	原図	◎桑原	◎渡邊	◎カサイ	◎葛西	◎亀田	○	
1/20、1/50	584	1009	原図	◎桑原	◎渡邊	◎はまだ	◎みやもと	◎亀田	○	
1/20、1/50	594	1017	原図	◎桑原	◎渡邊	◎浜田	◎浜田	◎高橋	○	
1/2、[1/20]	598	1017	原図	◎桑原	◎渡邊	◎みやもと	◎みやもと	◎亀田	○	
1/20、1/50	503	630	原図	◎桑原		◎渡邊	◎高橋	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20、1/50、1/100	501	677	原図	◎桑原	◎渡邊	◎濱田	◎はまだ	◎亀田	○	
[1/20]、[1/50]	512	670	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎亀田	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
[1/20]、[1/50]	509	671	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
[1/20]、[1/50]	506	669	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎松中	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
1/20	521	673	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎高橋	◎亀田	○	スタンプ「訂正」第一欄に「渡邊」印有
[1/20]	592	1003	原図	◎桑原	◎渡邊	◎渡邊	◎松葉	◎亀田	○	
1/20	590	1010	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	◎村山	◎亀田		
1/200	589	1013	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	◎村山	◎亀田		
1/20	586	995	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	◎村山	◎亀田		
1/20	594	1015	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	—	◎亀田		
1/20、1/100	589	1010	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	—	◎亀田	○	
1/20、1/200	590	995	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	◎村山	◎亀田	○	
1/20	592	1010	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	◎村山	◎亀田	○	
1/1、1/20、1/50	602	1016	原図	◎桑原	◎渡邊	判読不能	◎タンノフ	◎亀田	○	
[1/100]	590	1008	原図	—	—	—	—	◎松葉	○	塔屋縦横断面図
1/200	583	1010	原図	判読不能	—	判読不能	判読不能	◎亀田	○	
1/20	595	1008	原図	—	—	◎浜田	◎浜田	◎亀田	○	
1/20	600	1002	原図	—	—	◎浜田	◎浜田	◎亀田	○	
1/200	385	540	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	342	510	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	342	507	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	341	505	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	345	503	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	346	502	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	340	506	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	337	510	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	338	508	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	338	510	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による
1/200	338	510	原図			スタンプなし				図面名称は欄外表記による

目録番号	キング番号	仮整理番号	図面番号	図面名称	作成年代
86	84	仮3-3-15	No213	一階正面玄関文書受付室並文書受付溜詳細 (S1/20)	昭和2年9月7日 (1927年)
87	85	仮3-3-16	No214	一階正面玄関守衛室並一般受付詳細 (S1/20 or 1/50)	昭和2年8月30日 (1927年)
88	86	仮2-2-1	No215 4枚ノ1	一階中央広間詳細 (床並天井伏) (S1/50)	昭和2年10月1日 (1927年)
89	87	仮3-3-17	No215 4枚ノ3	一階中央広間詳細 (S1/20 or 1/200)	昭和2年9月30日 (1927年)
90	88	仮2-1-9	No216 7枚ノ1	中央階段詳細 (矩計)	昭和2年6月4日 (1927年)
91	89	仮2-1-11	No216 7枚ノ2	中央階段詳細 (矩計) (S1/20)	昭和2年6月1日 (1927年)
92	90	仮3-1-1	No216 7枚ノ3	地階中央階段詳細 (S1/20)	昭和2年6月24日 (1927年)
93	91	仮2-2-2	No216 7枚ノ4	二階中央階段詳細 (S1/20)	昭和2年5月31日 (1927年)
94	92	仮2-1-10	No216 7枚ノ5	第五階中央階段詳細 (S1/20 or 1/50)	昭和2年5月25日 (1927年)
95	93	仮2-2-7	No217 2枚ノ1	一階外部西玄関外部詳細 S1/20	昭和2年6月21日 (1927年)
96	94	仮3-1-2	No217 2枚ノ2	一階外部西玄関外部詳細 (石割) (S1/20)	昭和2年7月25日 (1927年)
97	95	仮3-1-3	No218 3枚ノ1	一階西玄関内部詳細 (S1/50)	昭和2年6月27日 (1927年)
98	96	仮3-1-4	No218 3枚ノ2	一階西玄関内部詳細 S1/20	昭和2年6月24日 (1927年)
99	97	仮2-2-3	No219	一階外部 南玄関外部詳細 S1/20 or 1/50	昭和2年7月26日 (1927年)
100	98	仮2-2-4	No220 3枚ノ1	一階南広間及玄関 建具真	昭和2年6月10日 (1927年)
101	99	仮3-1-5	No220 3枚ノ2	一階南玄関内部並南広間詳細 S1/20 1/50 or 1/100	昭和2年6月28日 (1927年)
102	100	仮3-1-6	No220 3枚ノ3	一階南玄関内部並南広間詳細	昭和2年6月23日 (1927年)
103	101	仮3-1-7	No222 2枚ノ1	一階外部北玄関外部詳細 (石割) S1/20	昭和2年7月23日 (1927年)
104	102	仮3-1-8	No224	一階内務部宿直室詳細 S1/20 or 1/50	昭和2年9月3日 (1927年)
105	103	仮3-1-9	No225	一階会計公衆溜詳細 (S1/20 or 1/50)	昭和2年7月15日 (1927年)
106	104	仮3-1-10	No226	一階会計金庫室詳細 S1/20 or 1/50	昭和2年9月30日 (1927年)
107	105	仮3-1-11	No227	一階乃至五階南北湯沸所詳細 S1/20	昭和2年9月27日 (1927年)
108	106	仮2-1-1	No228 2枚ノ1	一階乃至五階南北便所詳細	昭和2年8月8日 (1927年)
109	107	仮2-1-2	No228 2枚ノ2	一階乃至五階南北便所詳細 S1/20	昭和2年7月18日 (1927年)
110	108	仮3-1-12	No230	二階乃至四階西便所詳細 S1/20	昭和2年8月2日 (1927年)
111	109	仮3-1-13	No231 2枚ノ1	二階並四階土木警察学務各部長室詳細 S1/20	昭和2年7月21日 (1927年)
112	110	仮3-1-14	No231 2枚ノ2	二階並四階土木警察学務各部長室詳細 S1/20 or 1/50	昭和2年7月5日 (1927年)
113	111	仮3-1-15	No232	二階並四階土木警察学務各部長室接室詳細 S1/20	昭和2年7月5日 (1927年)
114	112	仮3-1-16	No233	(二階) 参事会室詳細	昭和2年7月8日 (1927年)
115	113	仮3-1-17	No234 2枚ノ1	二階刑事課各室詳細 S1/20 or 1/50	昭和2年7月8日 (1927年)
116	114	仮3-1-18	No240	第参階第参会議室詳細図	昭和2年11月5日 (1927年)
117	115	仮3-1-24	No241 2枚ノ1	三階貴賓室詳細	昭和2年10月3日 (1927年)
118	116	仮3-1-25	No242	三階貴賓室接室詳細 (第一室及第二室)	昭和2年10月20日 (1928年)
119	117	仮3-1-19	No243 2枚ノ1	三階貴賓便所詳細 (平面及天井伏図) S1/20 or 1/50	昭和2年10月11日 (1927年)
120	118	仮3-1-20	No243 2枚ノ2	三階貴賓室便所各部詳細 S1/20	昭和2年11月30日 (1927年)
121	119	仮2-2-5	No244 2枚ノ1	三階知事室詳細図 (一部平面及西側詳細図) S1/20	昭和2年10月25日 (1927年)
122	120	仮2-2-6	No244 2枚ノ2	三階知事室詳細図 (各壁窓図及天井伏 S1/50) (北側詳細 S1/20)	昭和2年10月22日 (1927年)
123	121	仮3-1-21	No246	三階知事副室詳細	昭和2年10月27日 (1927年)
124	122	仮3-1-22	No247	三階知事部長便所詳細	昭和2年11月1日 (1927年)
125	123	仮3-1-23	No248 2枚ノ1	三階内務部長室詳細 S1/20.S1/50	昭和2年9月6日 (1927年)
126	124	仮3-1-26	No248 2枚ノ2	三階内務部長室詳細図 S1/20	昭和2年8月31日 (1927年)
127	125	仮3-1-27	No249	三階内務部応接室詳細 S1/20 or 1/50	昭和2年8月5日 (1927年)
128	126	仮3-1-28	No251	議長応接室詳細 (第三階) S1/20 or 1/50 1/100	昭和2年11月9日 (1927年)
129	127	仮3-1-29	No252	第二階議員控室 (第一室) (第二室)	昭和2年8月3日 (1927年)
130	128	仮2-1-3	No253 7枚ノ2	三階議場詳細 (正面図) S1/20	昭和2年12月17日 (1927年)
131	129	仮2-1-4	No253 7枚ノ3	三階議場詳細図 (縦断面図) S1/20	昭和2年12月24日 (1927年)
132	130	仮2-1-5	No253 7枚ノ4	三階議場詳細図 (西側及北側) S1/20	昭和2年12月21日 (1927年)
133	131	仮2-1-6	No253 7枚ノ5	三階議場舞台及舞台両側室詳細図 S1/20	昭和2年12月25日 (1927年)
134	132	仮2-1-7	No253 7枚ノ6	三階議場 (天井伏) 詳細 S1/20	昭和2年12月15日 (1927年)
135	133	仮2-1-8	No253 7枚ノ7	三階議場詳細図 (傍聴席配置及天井伏) S1/20	昭和2年12月15日 (1927年)
136	134	仮3-4-2	No260 4枚ノ2	四階正庁外部窓側詳細及間仕切側S1/50図	昭和2年12月7日 (1927年)
137	135	仮3-4-3	No260 4枚ノ3	四階正庁詳細 S1/20 1/50	昭和2年12月23日 (1927年)
138	136	仮3-4-4	No260 4枚ノ4	四階正庁天井伏詳細	昭和2年12月17日 (1927年)
139	137	仮3-4-5	No261	第四階農務課肥料検査室 S1/20 S1/50	昭和2年7月14日 (1927年)
140	138	仮3-4-6	No270	五階第壹食堂詳細 S1/20 S1/50 or 1/100	昭和2年10月29日 (1927年)
141	139	仮3-4-7	No271 3枚ノ1	衛生試験室 (第五階) (其之壹)	昭和2年7月8日 (1927年)
142	140	仮3-4-8	No271 3枚ノ2	第五階衛生試験室 其ノ二	昭和2年7月1日 (1927年)
143	141	仮3-4-9	No271 3枚ノ3	第五階衛生試験室 其ノ三	昭和2年7月2日 (1927年)
144	142	仮3-4-10	No272	地階乃至五階五階電話交換手宿直室地階電話係宿直室地階電話機械室防火戸地階工夫宿直室詳細 S1/20	昭和2年8月19日 (1927年)
145	143	仮3-4-11	No280	東側西側塵芥投捨筒並地階自動車通路鉄扉詳細	昭和2年9月26日 (1927年)
146	144	仮10-9	No282 3枚ノ2	外部排水工事設計図 (マンホール詳細図) 縮尺1c20	昭和3年2月2日 (1928年)
147	145	仮10-16	No283 4枚ノ1	内庭面排水工事設計図 附煙道灰出口設計図 (配置平面図) 縮尺1c200	昭和3年1月20日 (1928年)
148	146	仮10-2	No283 4枚ノ2	内庭面排水工事設計図 附煙道灰出口設計図 (マンホール詳細図) 縮尺1:20	昭和3年1月23日 (1928年)
149	147	仮10-3	No283 4枚ノ3	内庭面排水工事設計図 S=1/20	昭和2年9月21日 (1927年)
150	148	仮10-11	No283 4枚ノ4	内庭面排水工事設計図 S=1/100, 1/20	昭和2年9月21日 (1927年)
151	149	仮10-12	No284 3枚ノ1	空濠、斜道及トレンチ設計図 (配置平面図) (トレンチ詳細図) 縮尺1:200 1:20	昭和3年2月1日 (1928年)
152	150	仮10-13	No284 3枚ノ3	空濠、斜道及トレンチ設計図 (各部詳細図) 縮尺1:20	昭和3年2月13日 (1928年)
153	151	仮3-4-12	No286 1之1	蓄電池室設計図 縮尺五拾分之壹、式拾分之壹、及現寸	昭和3年2月14日 (1928年)
154	152	仮9-26	記載なし	番外	大正15年11月30日 (1926年)
155	153	仮9-27	番外2	配置図 1/200	昭和2年5月6日 (1927年)
156	155	仮5-4	記載なし	特別照明器具 S1/20	昭和3年3月1日 (1928年)
157	154	仮5-3	記載なし	特別照明器具 S1/20	昭和3年3月3日 (1928年)
158	165	仮6-8	記載なし	㊦神奈川県庁舎 第一階平面図 縮尺二百分之壹	記載なし
159	164	仮6-7	記載なし	㊧神奈川県舎 第二階平面図 縮尺二百分之壹	記載なし
160	166	仮6-9	記載なし	㊨神奈川県庁舎 第三階平面図 縮尺二百分之壹	記載なし
161	167	仮6-10	記載なし	㊩神奈川県庁舎 第四階平面図 縮尺二百分之壹	記載なし
162	168	仮6-11	記載なし	㊪神奈川県舎 第五階平面図 縮尺二百分之壹	記載なし
163	169	仮6-12	記載なし	㊫神奈川県舎 第六階平面図 縮尺二百分之壹	記載なし
164	170	仮6-13	記載なし	㊬神奈川県庁舎 第七八階平面及屋根伏図 縮尺二百分之壹	記載なし
165	158	仮6-1	記載なし	㊭神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図 第二階平面 縮尺二百分之壹	記載なし
166	159	仮6-2	記載なし	㊮神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図 第三階平面 縮尺二百分之壹	記載なし
167	160	仮6-3	記載なし	㊯神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図 第四階平面 縮尺二百分之壹	記載なし
168	161	仮6-4	記載なし	㊰神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図 第五階平面 縮尺二百分之壹	記載なし

縮尺	寸法 (縦)	寸法 (横)	種別	スタンプ署名欄					大林組 所蔵	備考
				所長	主任	設計	製図	写図		
1/200	339	508	原図							図面名称は欄外表記による
1/200	340	508	原図							図面名称は欄外表記による
1/20	596	1017	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦竹田	㊦亀田	○	スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有
1/20	593	1031	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦松葉	—	○	スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有。欄外に「神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図基礎詳細其ノ四 縮尺二十分ノ一」の表記有
1/20	594	1020	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦松葉、㊦宮本	㊦松葉	○	スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有
1/20	598	1017	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦竹田	㊦亀田	○	スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有。スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.5.4.」の記載有
1/20	594	1013	原図	—	㊦ Sn 判読不能 サイン	㊦池部	㊦宮本	㊦亀田	○	スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有。スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.7.5.」の記載有
1/20	596	1021	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦松中、㊦宮本	㊦松葉	○	スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有。スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.7.5.」の記載有
1/20	594	1011	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦宮本	㊦亀田		スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有
1/20	597	1039	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦宮本	—		スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有。欄外に「神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図基礎詳細其ノ十(北玄関下) 縮尺二十分ノ一」の表記有
1/20	594	1018	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦竹田	㊦松葉		スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有
1/50	595	1012	原図	—	—	㊦池部	判読不能	㊦亀田	○	
[1/50]	599	1019	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦竹田	判読不能	○	スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有。スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.4.27.(補正)」の記載有
1/50	587	1011	原図	—	—	㊦池部	㊦竹田	㊦松中	○	
1/20	598	1013	原図	—	—	㊦池部	判読不能	㊦亀田		
1/20	592	1012	原図	—	—	㊦池部	㊦竹田	㊦亀田		
[1/20]	592	1010	原図	—	—	㊦池部	㊦竹田	㊦亀田		
[1/20]	591	1007	原図	—	—	㊦池部	判読不能	㊦亀田		
[1/50]	590	1001	原図	—	—	判読不能	判読不能	㊦亀田		
1/20	591	1009	原図	—	—	㊦池部	—	㊦亀田	○	
1/20、1/50	588	1000	原図	判読不能	—	㊦池部	㊦竹田	㊦亀田	○	
1/20	591	1011	原図	—	—	㊦池部	㊦池部	㊦亀田		
1/20	598	1005	原図	㊦桑原	判読不能	判読不能	—	㊦亀田		
1/20	591	1017	原図	—	—	㊦池部	判読不能	㊦松中		
1/20	595	1011	原図	—	—	㊦池部	㊦池部	㊦亀田	○	「議場ギャラリー」か
1/20	595	1010	原図	—	—	㊦池部	㊦池部	㊦亀田		
1/20	598	1012	原図	㊦桑原	—	㊦池部	㊦池部	㊦亀田	○	
1/20	593	1005	原図	㊦桑原	—	㊦池部	判読不能	㊦亀田	○	
1/20	595	1025	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦宮本	㊦松中		スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有
1/20	594	1010	原図	—	—	判読不能	判読不能	㊦亀田	○	
1/20	553	961	原図	—	㊦ Sn	判読不能	判読不能	—	○	スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有
1/20	591	980	原図	—	—	判読不能	—	—		
1/20	593	1020	原図	—	㊦ Sn	㊦池部	㊦津野	—		スタンプ「主任」欄に佐野利器のサイン有
1/20	585	1007	原図	㊦桑原	—	㊦池部	判読不能	㊦亀田	○	
[1/20]	592	1010	原図	—	—	㊦池部	㊦カサイ	㊦亀田	○	
1/20	588	1007	原図	—	—	㊦池部	㊦カサイ	㊦亀田		スタンプ「訂正」「第一」欄に「2.7.5.」の記載有
1/20	588	1007	原図	—	—	判読不能	㊦カサイ	㊦亀田		
1/20	588	1013	原図	—	—	㊦池部	㊦津野	㊦亀田		
1/20	591	1008	原図	—	—	判読不能	—	㊦亀田	○	
1/20	600	1017	原図	—	—	㊦池部	—	㊦亀田	○	
1/20	591	1008	原図	—	—	㊦池部	㊦待山	㊦亀田	○	
1/20	594	1010	原図	㊦桑原	—	㊦池部	—	㊦亀田	○	
1/20	590	1006	原図	㊦桑原	—	㊦池部	判読不能	㊦亀田	○	
1/20	594	1012	原図	㊦桑原	—	㊦池部	㊦カサイ	㊦亀田	○	
[1/100]	716	985	原図	判読不能	判読不能	㊦佐々木	㊦松葉	—		
[1/100]	685	1008	原図	㊦桑原	—	㊦佐々木	㊦松葉	㊦松葉		
[1/100]	702	1033	原図	㊦桑原	—	㊦佐々木	㊦松葉	㊦松葉		
[1/100]	695	970	原図	判読不能	判読不能	㊦佐々木	㊦松葉	㊦松葉		
[1/100]	685	1010	原図	判読不能	判読不能	㊦佐々木	㊦松葉	㊦松葉		
[1/100]	590	932	原図	判読不能	判読不能	㊦佐々木	㊦松葉	㊦亀田		
[1/100]	591	1014	原図	判読不能	判読不能	㊦佐々木	㊦松葉	㊦亀田		
1/20、1/100	513	673	原図	㊦桑原	㊦渡邊	㊦佐々木	㊦淡ノ輪	㊦亀田		
[1/20]	508	670	原図	㊦桑原	判読不能	㊦佐々木	判読不能	㊦亀田	○	
[1/100]、[1/200]	555	743	原図	㊦桑原	判読不能	—	㊦淡ノワ	㊦松中	○	西側車庫平面図・東側車庫平面図・立面図など。スタンプ「図面総数」欄に「7」の記載有
[1/200]	555	736	原図	㊦桑原	判読不能	判読不能	—	㊦淡ノワ	○	基礎梁及柱配置図・柱基礎配置図など。スタンプ「図面総数」欄に「7」の記載有
[1/20]	550	745	原図	㊦桑原	判読不能	—	—	—	○	スラブ・壁詳細図。スタンプ「図面総数」欄に「7」の記載有
[1/20]	547	746	原図	㊦桑原	判読不能	判読不能	—	—	○	基礎詳細図。スタンプ「図面総数」欄に「7」の記載有
[1/20]、[1/50]	587	775	原図	㊦桑原	判読不能	—	㊦淡ノワ	—	○	各室詳細図・断面図など。スタンプ「図面総数」欄に「7」の記載有
[1/20]	535	723	原図	㊦桑原	判読不能	—	㊦淡ノワ	—	○	倉庫・化学室・水槽室詳細図など。スタンプ「図面総数」欄に「7」の記載有
[1/20]	554	735	原図	㊦桑原	判読不能	—	㊦淡ノワ	㊦淡ノワ	○	宿直室平面図・便所断面詳細図など。スタンプ「図面総数」欄に「7」の記載有
[1/20]	521	750	原図	—	—	—	—	—	○	
[1/20]	454	750	原図	—	—	—	—	—	○	

目録番号	キング番号	仮整理番号	図面番号	図面名称	作成年代
169	162	仮6-5	記載なし	④神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図 第六階平面 縮尺二百分ノ壹	記載なし
170	163	仮6-6	記載なし	④神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図 第七八九階(平面)及屋根伏 縮尺二百分ノ壹	記載なし
171	171	仮4-4	鉄筋こんくりート工作 3	基礎詳細図(えれべーたーびつと下) ⑤ ②③ 其三 1/20	昭和2年3月9日(1927年)
172	172	仮4-5	鉄筋こんくりート工作 No4	基礎詳細図 其四 (9、10、12) 1/20	昭和2年3月11日(1927年)
173	173	仮4-6	鉄筋工作 5	基礎詳細 其五 (正面玄関部) 1/20	昭和2年3月9日(1927年)
174	174	仮4-7	鉄筋こんくりート工作 No6	基礎詳細 其六 (塔屋下) 1/20	昭和2年3月10日(1927年)
175	175	仮4-8	鉄筋こんくりート工作 No7	基礎詳細図(正面車寄) 其七 1/20	昭和2年3月19日(1927年)
176	176	仮4-9	鉄筋工作 No8	基礎詳細 其八 (南車寄) 1/20	昭和2年3月10日(1927年)
177	177	仮4-10	鉄筋こんくりート工作 No9	基礎詳細図 其九 (西玄関下) 1/20	昭和2年3月18日(1927年)
178	178	仮4-11	鉄筋こんくりート工作 No10	基礎詳細図 其十 (北玄関下) 1/20	昭和2年3月16日(1927年)
179	179	仮4-12	こんくりート工作 11	階段詳細図 其壹 西階段 1/20	昭和2年3月18日(1927年)
180	180	仮4-13	鉄筋こんくりート工作 No13	鉄筋こんくりートすらぶ配筋図 其ノ一 1/50	昭和2年4月19日(1927年)
181	181	仮4-14	鉄筋こんくりート工作 No14	鉄筋こんくりートすらぶ配筋図 其二	昭和2年4月21日(1927年)
182	182	仮4-15	鉄筋こんくりート工作 No15	鉄筋こんくりートすらぶ配筋図 其三 1/50	昭和2年4月26日(1927年)
183	183	仮4-16	鉄筋工作 No16	外部(鉄筋混凝土)一般矩計図 1/20	昭和2年6月4日(1927年)
184	184	仮4-17	鉄筋こんくりート工作 No17	正面玄関上部鉄筋こんくりート(詳細図) 1/20	昭和2年6月11日(1927年)
185	185	仮4-18	鉄筋こんくりート No18	正面玄関車寄北玄関柱形詳細	昭和2年5月11日(1927年)
186	186	仮4-19	鉄筋工作 No19	南・西玄関廻柱形詳細	昭和2年6月8日(1927年)
187	187	仮4-20	鉄筋こんくりート No20	各出入口底鉄筋配置	昭和2年6月16日(1927年)
188	188	仮4-21	鉄筋こんくりート工作 No23	南北階段室配筋図 其ノ三 1/20	昭和2年7月21日(1927年)
189	189	仮4-22	鉄筋工作 No24	正面・西玄関廻床版及柱形詳細 (1/50 及 1/20)	昭和2年6月6日(1927年)
190	190	仮4-23	鉄筋こんくりート工作 No25	北玄関廻り配筋詳細図 1/20	昭和2年7月6日(1927年)
191	191	仮4-24	鉄筋こんくりート工作 No26	南玄関廻り配筋図 1/20	昭和2年7月10日(1927年)
192	192	仮4-25	鉄筋こんくりート工作 28	鉄筋こんくりート工作 正面階段 1/20	昭和2年5月11日(1927年)
193	193	仮4-26	鉄筋工作 No29	議ギヤラリー配筋図 1/20	昭和2年7月4日(1927年)
194	194	仮4-27	鉄筋こんくりート工作 No32	(塔屋配筋図) 1/20	昭和2年8月17日(1927年)
195	195	仮4-1	鉄筋こんくりート工作 No34	煙道配筋図 1/20	昭和2年8月2日(1927年)
196	196	仮4-2	鉄筋こんくりート工作 No35	キカン庫石炭庫灰置場 1/20	昭和2年8月3日(1927年)
197	197	仮4-3	鉄筋こんくりート工作 番外1	基礎フーテング下端筋配置図 1/20	昭和2年3月18日(1927年)
198	198	仮7-1	鉄骨作 2	取附並柱底範例 第壹地階梁 其一 1/20	昭和2年2月23日(1927年)
199	199	仮7-2	鉄骨作 3	地階こんねくしよん並二柱底範例 其二 1/20	昭和2年2月24日(1927年)
200	200	仮7-3	鉄骨作 4	梁取附並柱底範例(地階) 其三 1/20	昭和2年2月23日(1927年)
201	201	仮7-4	鉄骨工作 5	鉄骨柱詳細図 其一 1/20	昭和2年3月1日(1927年)
202	202	仮7-5	鉄骨工作 No32	塔屋柱詳細図 ⑤-⑨	昭和2年5月18日(1927年)
203	203	仮7-6	鉄骨工作 No34	塔屋柱詳細図 ⑤-⑨	昭和2年5月19日(1927年)
204	204	仮7-7	鉄骨工作 No35	塔屋柱詳細図(八階以上) 1/20	昭和2年6月7日(1927年)
205	205	仮7-8	鉄骨工作 No36	塔屋鉄骨詳細図(屋根) 1/20	昭和2年6月13日(1927年)
206	206	仮7-9	鉄骨工作 No40	正面階段鉄骨詳細図(其二) 1/20	昭和2年5月17日(1927年)
207	207	仮7-10	鉄骨工作 No42	議場関係構造図 1/20	昭和2年5月25日(1927年)
208	208	仮7-11	鉄骨工作 No43	議場上屋及ビ議場裏妻詳細 1/20	昭和2年5月23日(1927年)
209	209	仮7-12	鉄骨工作 No44	議場正面妻詳細 1/20	昭和2年5月30日(1927年)
210	210	仮7-13	鉄骨工作 No45	下梁振止天井受見上図 1/20	昭和2年5月23日(1927年)
211	211	仮7-14	鉄骨工作 No46	塔屋鉄骨階段(其ノ壹)(詳細図) 1/20	昭和2年8月12日(1927年)
212	212	仮7-15	鉄骨工作 No47	塔屋鉄骨階段詳細(其ノ二)	昭和2年8月23日(1927年)
213	213	仮10-4	3	衛生工事配管及配置図 第一階平面図	昭和3年3月18日(1928年)
214	214	仮10-5	4	衛生工事配管及配置図 第二階平面図	昭和3年3月26日(1928年)
215	215	仮10-6	5	衛生工事配管及配置図 第三階平面図	昭和3年3月23日(1928年)
216	216	仮10-7	6	衛生工事配管及配置図 第四階平面図	昭和3年3月21日(1928年)
217	217	仮10-8	7	衛生工事配管及配置図 第五階平面図	昭和3年3月24日(1928年)
218	218	仮10-10	8	衛生工事配管及配置図 南北便所	昭和3年3月15日(1928年)
219	219	仮10-15	9	衛生工事配管及配置図 屋上平面図	昭和3年3月20日(1928年)
220	220	仮10-14	12	衛生工事 排水枡一部詳細図	昭和2年9月23日(1927年)
221	221	仮10-1	其ノ三	電灯及電話並排給水其他工事主管通過路穴詳細	昭和2年9月2日(1927年)
222	222	仮1-1	No1	自動車々庫設計図	記載なし
223	223	仮1-2	No2	自動車々設計図	記載なし
224	224	仮1-3	No3	自動車庫設計図	記載なし
225	225	仮1-4	No4	自動車庫設計図	記載なし
226	226	仮1-5	No5	自動車々庫設計図 縮尺1/50、1/20	記載なし
227	227	仮1-6	No6	自動車々庫設計図	記載なし
228	228	仮1-7	No7	自動車々庫設計図	記載なし
229	229	仮5-2	記載なし	門及塀設計図 其一	記載なし
230	230	仮5-1	記載なし	門及塀設計図 其二	記載なし

- 註 (1) 目録記載項目のうち、「図面番号」欄と「図面名称」欄は、原則としてスタンプ部分の記載を原文のまま表記した
(2) 「図面名称」欄で〔 〕を付けて表記したものは、名称の記載がなかったため筆者が名称を付与したものである
(3) 「縮尺」欄で〔 〕を付けて表記してある縮尺は、図面には記載がなく整理作業時に筆者が計測した縮尺であることを示している
(4) 寸法欄の単位はミリメートルである
(5) 「主任」「設計」欄の区切りがない図面は、スタンプの「主任」「設計」欄をまたぐ印ないし署名が確認されたものである

月一四〇 小尾嘉郎 月一四〇 廣田清作
 月二三〇 楠原松太郎 月一二〇 濱田義男
 月九〇 古賀新吉 月八五 和田敏明
 月八五 待山正利 月七五 宮本幸一
 月七〇 碓井政人

助手

月一〇〇 二見秀雄 月五五 松葉與兵衛
 月五三 高橋健次郎 月五三 平岡正嘉⁽¹⁰⁾

神奈川県職員録（昭和二年五月一日現在）

県庁舎建築事務所

所長

年二、五〇〇 建築技師 桑原栄治

参与

地方事務官 長岡喜一 地方技師 枅井照蔵

建築技師 成富又三

顧問

年三、〇〇〇 工学博士 佐野利器

建築技師

年二、二〇〇 渡邊利雄 年一、九〇〇 池部宗薫

年 二〇〇 地方技師 奥戸大蔵

県書記

月九〇 物品取扱主任 岩井才太郎

建築技手

月一六〇 津野房吉 月一四五 佐々木好造

月一四〇 楠原松太郎 月一三五 濱田義男
 月一二〇 竹田 司 月一〇〇 待山正利
 月九八 古賀新吉 月八五 宮本幸一
 月七〇 淡輪志智老 月六七 村山三郎
 月六五 高橋建次郎 月六三 松葉與兵衛

助手

月六五 西村東二郎 月五七 松中直司
 月五七 亀田誠二 月五五 佐藤 戦⁽¹¹⁾

まず、スタンプの「所長」欄であるが、神奈川県庁舎建築事務所の初代所長を務めた鳥井信の印ないしサインが印四二点、サイン一点のあわせて四三点の図面で確認された。また、二代目所長であった桑原栄治の印ないしサインが確認される図面は、捺印のあるものが一〇〇点、サインがあるものが七点の合計一〇七点である。神奈川県庁舎建築事務所は、県庁舎の設計が設計競技（コンペ）に付されることが発表された一九二六年（大正一五）年三月五日に、神奈川県の大正・昭和戦前期の営繕組織を代表する建築家であった成富又三を所長心得として設置された⁽¹²⁾。当初の業務は同年六月二日に小尾嘉郎の一等当選が発表されることとなる設計競技に関するものがおもであったと思われるが、コンペの審査結果発表から程ない同年七月一四日に鳥井信が所長に就任し、鳥井のもとで実施設計が開始される。鳥井は翌一九二七（昭和二）年一月一五日の建設工事着工を見届け、同年四月三〇日に神奈川県を退職するまで所長の任にあつた⁽¹³⁾。

目録番号1から59までの図面は、作成年月日の記載がない四点の図面を例外として、その他の図面はすべて作成年月日が「大正十五年十一月

三十日」となっており、鳥井の印ないしサインが確認される図面はすべてがこの目録番号1から59までの図面の中に含まれている。

鳥井が神奈川県を退職した直後の一九二七年五月三日にその後任として二代目の所長に就任した桑原栄治は、翌一九二八年五月四日の定礎式を経て同年一〇月三十一日の建物竣工まで所長として建設工事を統括し、名古屋市庁舎の建設に携わるため神奈川県を退職する一九二九年六月五日まで県庁舎建築事務所所長の任にあった。⁽¹⁴⁾

桑原の印ないしサインが確認される図面のうち、最も作成年月日が古い図面は、所長就任から約二週間後の一九二七年五月十八日付の図面「塔屋柱詳細図 ㊸・㊹」(表1、目録番号20²)である。佐藤嘉明氏は、桑原の所長就任を一九二八年五月一日としており、筆者も佐藤氏の見解に従い、特別展では同様の説明をしていたが、今回の調査により先に述べたように、桑原の所長就任年月日は一九二七年五月三日であったことが判明した。桑原の所長就任が実際には約一年早かったこととなり、佐藤氏が一九二八年五月四日に挙行された定礎式直前の所長就任で、設計に自らの意向を加える余地はなく、同氏が大林組所蔵の県庁舎図面のマイクロフィルムで確認した図面の作成年月日と所長就任の年月日との関係から、桑原就任後の後追い決裁と評価した各室詳細図の設計は、桑原の所長就任後に本格化したこととなり、桑原もその設計に深く関与した可能性が高いと考えることができよう。ちなみに、桑原が神奈川県退職後に主任技師としてその建設に携わった名古屋市庁舎(現名古屋市役所本庁舎、一九三三年竣工)の室内意匠には、神奈川県庁舎との類似性を感じさせる箇所が随所に見られる。詳細な検証は今後の課題であるが、この両建物の室内意匠の類似性は、桑原の関与をベースとして考えることができるのではないかとも思われるのである。

次に、「主任」欄で確認される印ないしサインは、各室の詳細図に渡邊利雄の印が八七点、松井宗一の印は構造図中心に三九点、池部宗薫のサインが構造図で一点あり、建築顧問を務めた東京帝国大学教授佐野利器のサインが構造図のうち一三三点であった。松井宗一の印がある図面は、鳥井同様すべて「大正十五年十一月三十日」付のもので、設計開始当初に主要な図面の「主任」として重要な役割を担っていたことがわかる。佐野が「主任」欄に「Sn」とサインをした図面には、「所長」欄に桑原の印が捺されたものが一点もなく、佐野の影響力の大きさを反映しているものと考えることができよう。

「設計」欄を見ていくと、渡邊・池部の両建築技師と建築技手の濱田義男が中心的役割を担っていたことがわかる。その詳細を見ていくと、渡邊利雄の印が意匠詳細図中心に五六点、池部宗薫は構造図を中心に印二〇点、サイン三六点の合計五六点、濱田義男がおもに意匠詳細図で印二三点、サイン八点の合計三二点となっている。その他にも佐々木好造(九点、衛生工事図面)、「カサイ」(六点、議場詳細図)、川口一二(五点、構造図)、一見秀雄(四点、構造図)、宮本幸一(一点、正庁詳細図)の印ないしサインが確認された。

「製図」欄の印ないしサインからは、渡邊・池部・濱田以外のさらに多くの人物の関与が判明した。最も多くの図面に関わったのは松葉與兵衛の二二点(意匠詳細図・構造図・衛生工事図面)で、ついで濱田義男の一七点(意匠詳細図中心)、宮本幸一の一五点(意匠詳細図・構造図)、高橋建次郎の一三三点(意匠詳細図中心)、碓井政人の一二点(意匠詳細図中心)となっている。その他には、おもに意匠図を担当した和田敏明(八点)、渡邊利雄(六点)、「葛西」(七点)、小尾嘉郎(一点)、古賀新吉(一点)、おもに構造図を担当した待山正利(二五点)、池部宗薫(九点)、竹

田司(八點)、二見秀雄(四點)、廣田清作(二點)、津野房吉(二點)、松中直司(一點)、衛生工事・排水工事・車庫図面等を担当した淡輪志智老(六點)、村山三郎(五點)の印ないしサインを確認した。一九二六(大正一五)年一〇月九日から翌一九二七(昭和二)年一月一五日まで県庁舎建築事務所在籍した、コンペ一等当選者小尾嘉郎の署名は、やはり「平面図(塔屋)」(目録番号8)の一点のみであった。⁽⁶⁾

最後に「写図」欄であるが、亀田誠二の署名が一〇三點(「亀誠」印含む)と突出して多く、松中直司三五點、松葉與兵衛二四點のほか、高橋建次郎三點、淡輪志智老二點、碓井政人一点の印ないし署名が見られた。先に引用した名簿で確認すると、「写図」はおもに助手クラスの業務であったことがわかる。

なお、ここまで「所長」「主任」「設計」「製図」「写図」の各欄の印ないし署名をもとに、各図面の設計に関与した人物を検討してきたが、印には判読不能なものも多く、それらは表1にあるように「判読不能」と記載せざるを得なかった。それでも残存する二三〇点の図面と関与した人物の関係を概ね明らかにし得たものと考えているが、その全体像を示しきれではない点には留意が必要である。

以上の印ないしサインの状況から、四代目県庁舎の設計に深く関与した人物として、鳥井信・桑原栄治の歴代所長と建築顧問として構造図を統括した佐野利器に加えて、渡邊利雄・池部宗薫・松井宗一・濱田義男等を挙げることができよう。建物竣工時に発行した『神奈川県庁新築工事概要』に「工事関係者」として記載されている関係者は、佐野・桑原・渡邊・池部の四名のみであるが、本図面群の印ないしサインの分析からも同様の結果を導き出すことができたことになる。なお、「設計」欄の「カサイ」のサインと「製図」欄の「葛西」のサインについては、「職

員録」で該当すると思われる人名の掲載を確認できなかったため、詳細は不詳である。また、「職員録」により氏名を特定することができた人物についても、すでに佐藤嘉明氏により履歴が紹介されている鳥井・桑原・渡邊・池部を除いて、その履歴等を明らかにできなかった人物はいなかった。⁽⁷⁾ 松井宗一・濱田義男をはじめとする県庁舎建築事務所関係者の履歴調査は今後の課題である。

三 その他の図面記載内容の分析

本節では、前節での図面作成者に関する検討以外の図面記載内容について、いくつかの論点を提示することとしたい。

表1で確認できるように、本図面群には①目録番号2〜8、②同158〜164、③同165〜170の三件合計二〇点の平面図が収められている。まず、これら三件の平面図の関係を検討してみたい。①は一階、二階、三階、四階、五階、六階と七階・八階・九階および屋根伏が一枚に記載された図面の計七枚で、いずれも縮尺は1/100、②と③は1/200の縮尺で、②は①と同様の計七枚、③は①から一階平面図を除いた計六枚で構成され、①から③のすべてにおいて地階の図面を欠いている。また、作成年代が判明するものは①のみで、①の図面にはすべて「大正十五年十一月二十日」の日付記載が見られる。②・③の平面図にはスタンプの捺印がなく、日付の記載もないため、作成年代は不詳である。

以下、これらの平図面に記載された部屋の名称等、内容の詳細について検討してみたい。それぞれの図面を各階ごとに見ていくと、①から③のそれぞれの図面に記載されている各部屋の名称や部屋の間仕切りが①から③の図面ごとに異なっている状態であった。例えば、「御真影」が掲げられ庁舎内でも最も格式の高い部屋のひとつであった正庁が置かれた

四階の①から③の平面図を比較してみると、①の平面図では正庁の両脇の部屋は右側が「事務室（営繕課）」、左側は「事務室（教務課）」であるのに対して（図2）、②の平面図では右側の部屋が「社会教育課」、左側の部屋は「農務課」と表記され（図3）、③の平面図では右側は「会議室」、左側は「事務室 農務課第四室」となっている（図4）。四階以外の各階についても、①から③の図面の部屋の配置が相違している状況は同様である。また、各図面の部屋の間仕切りも、同一フロアの図面で異なっている状況であった。また、竣工時の平面図と考えられる『神奈川県庁新築工事概要』に掲載された平面図と比較しても（図5）、どの図面も一致しないのである。「新築工事概要」所収の平面図と①から③の平面図を詳しく分析してみると、①と②の図面は部屋の名称や間仕切りの「新築工事概要」所収平面図との一致度が低く、③の平面図は①・②に比べて「新築工事概要」所収平面図との一致度が高いことが判明した。このことから、三件の平面図の作成年代は①と②の平面図はほぼ同時期で、③はこれら二件の平面図よりやや新しいと考えることができるのではなかろうか。③の図面の名称は「神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図」であるため、工事の着工を見据えた時期に作成された平面図である可能性を指摘しておきたい。なお、四代目県庁舎の平面図は『建築雑誌』第五一七号（一九一九年一月）にも掲載されているが、同誌に掲載された平面図と「新築工事概要」所収平面図も相違しており、本図面群に収められた①から③の三件の平面図とも一致しないものもある。これらの関係性を整理するのは今後の課題としたい。

次に、個別の図面についてであるが、特別展図録でも若干言及した「塔屋矩計図（其ノ一）」（目録番号64、図6・1・6・2）に注目したい。この図面を見ると、塔屋に張られた大ぶりなタイルは「てらかったスクラ

ッチ」、外壁全体に使用されているタイルについては「粗面たい」と表記されていることがわかる。現在一般的に「スクラッチタイル」として認識されている後者は、少なくとも県庁舎建築事務所の関係者には「スクラッチ」とは区別して認識されていた可能性を指摘できよう。かつて堀勇良氏は四代目県庁舎の外装材は「スクラッチタイル」ではなく、実際には「筋面タイル」であることを指摘しおり、佐藤嘉明氏も特別展図録の巻頭論文において四代目県庁舎で使用された「スクラッチタイル」について子細に考察している¹⁸⁾。すでにスクラッチタイル張りの外壁として広く紹介されている建物ではあるが、図面上の表記が確認できたことは本図面群の詳細調査の大きな成果のひとつといえることができる。

本図面群に含まれる照明器具の図面にも触れておきたい。本図面群には、昭和三年三月一日付と同三月三日付の「特別照明器具」という名称の図面が二点残されている（図7・1・7・2、目録番号156・157）。これらの図面には正庁および貴賓室のシャンデリア（目録番号156）や正庁の装飾灯、正面階段親柱に据えられた陶製装飾灯の姿図（目録番号157）が描かれており、「設計」「製図」欄にはいずれも濱田義男のサインが据えられていることから、濱田が設計し照明器具製作者に外注した特注品であったことが確認された。また、本稿の目的からはやや外れてしまうが、正庁および貴賓室のシャンデリアと正面階段の陶製装飾灯については、『建築土木資料集覧』に両シャンデリアは「明工社」、陶製装飾灯は「泰山製陶所」（池田泰山）の製作として掲載されていることも判明した¹⁹⁾。ただし、「新築工事概要」に記載された「特別照明器具製作及取付工事」の請負者は「金丸商店」となっているため²⁰⁾、特に金丸商店と明工社との関係など、新たな疑問点が生じることとなってしまった。この疑問点に対する回答も今後の課題とせざるを得ない。二点の図面に描かれた照明

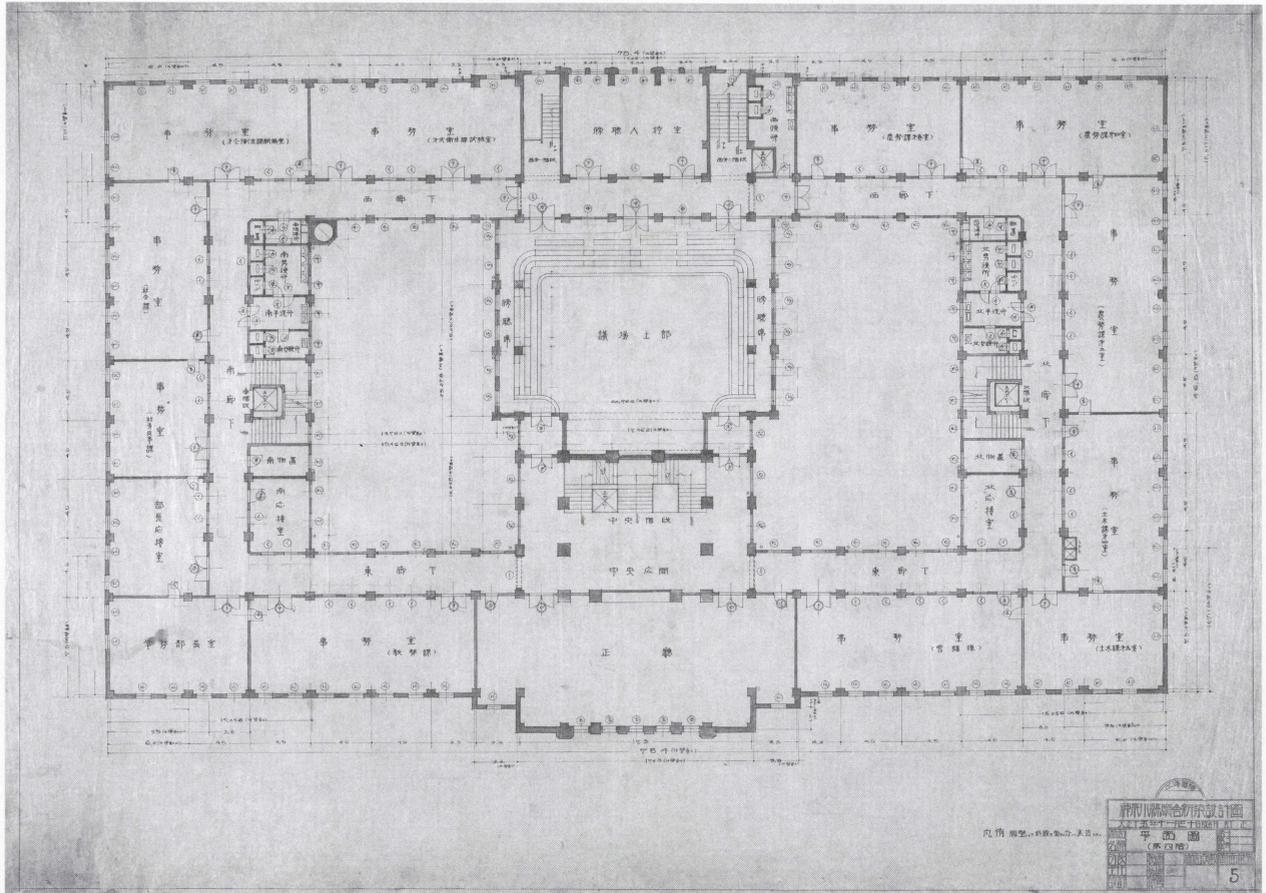


图2 平面图 (第四階) (目錄No.5)

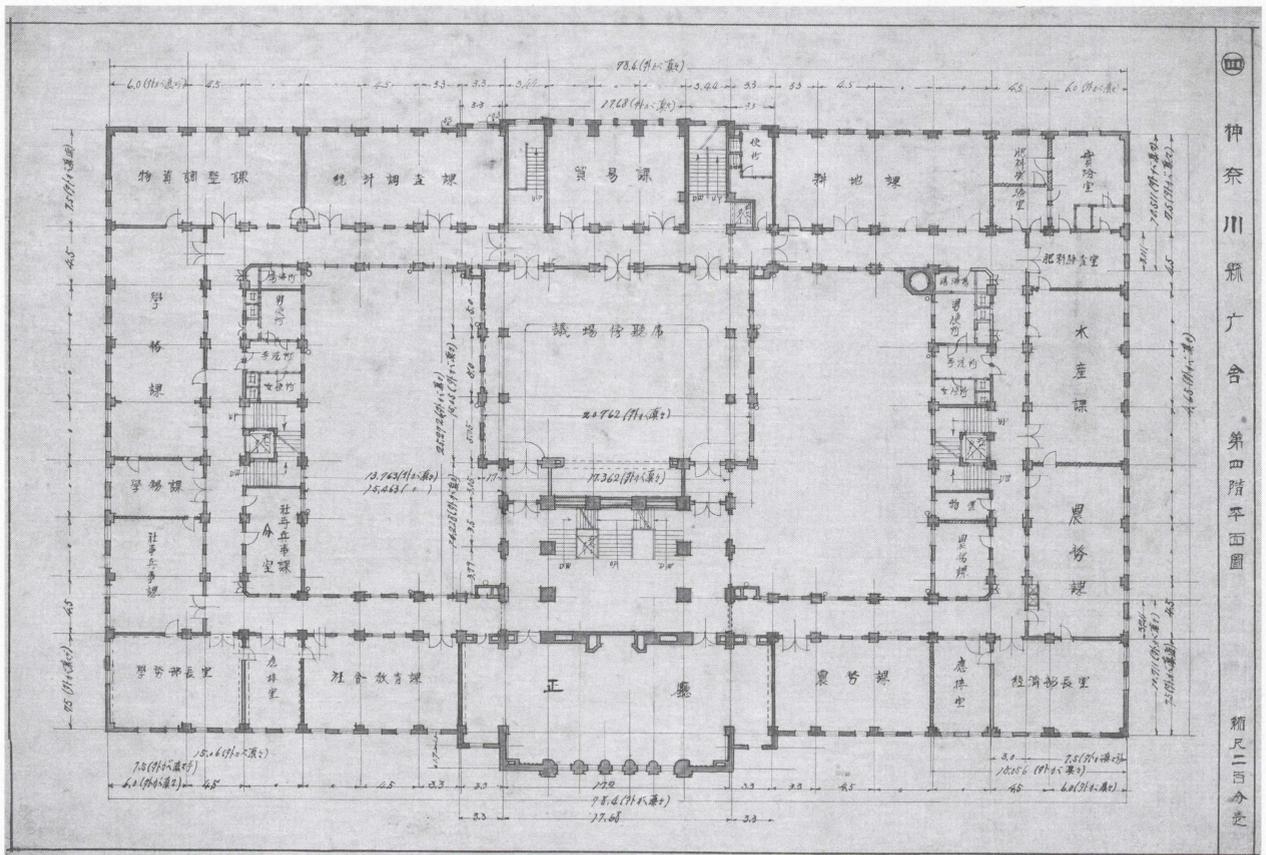


图3 神奈川県庁舎 第四階平面图 縮尺二百分卷 (目錄No.161)

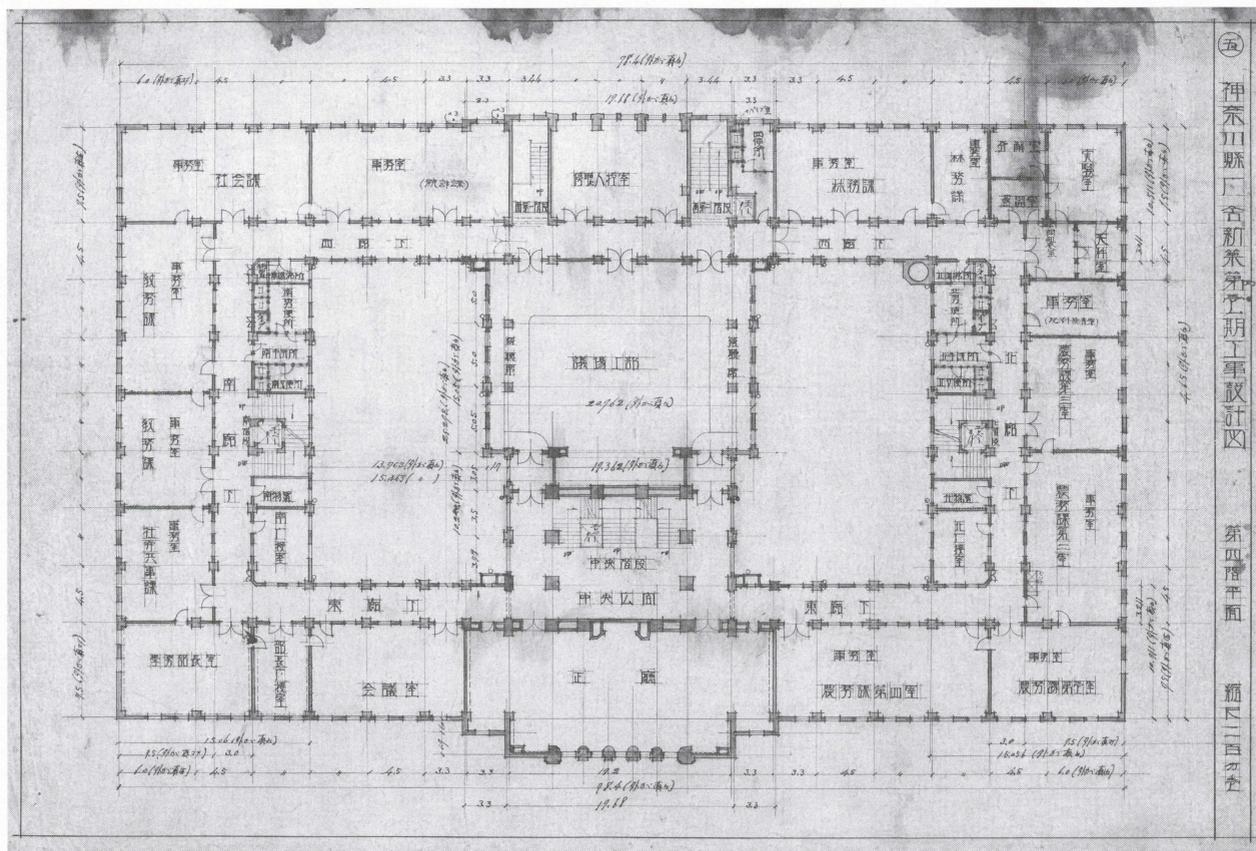


图4 神奈川県庁舎新築第壹期工事設計図 第四階平面 縮尺二百分ノ壹 (目錄No. 167)

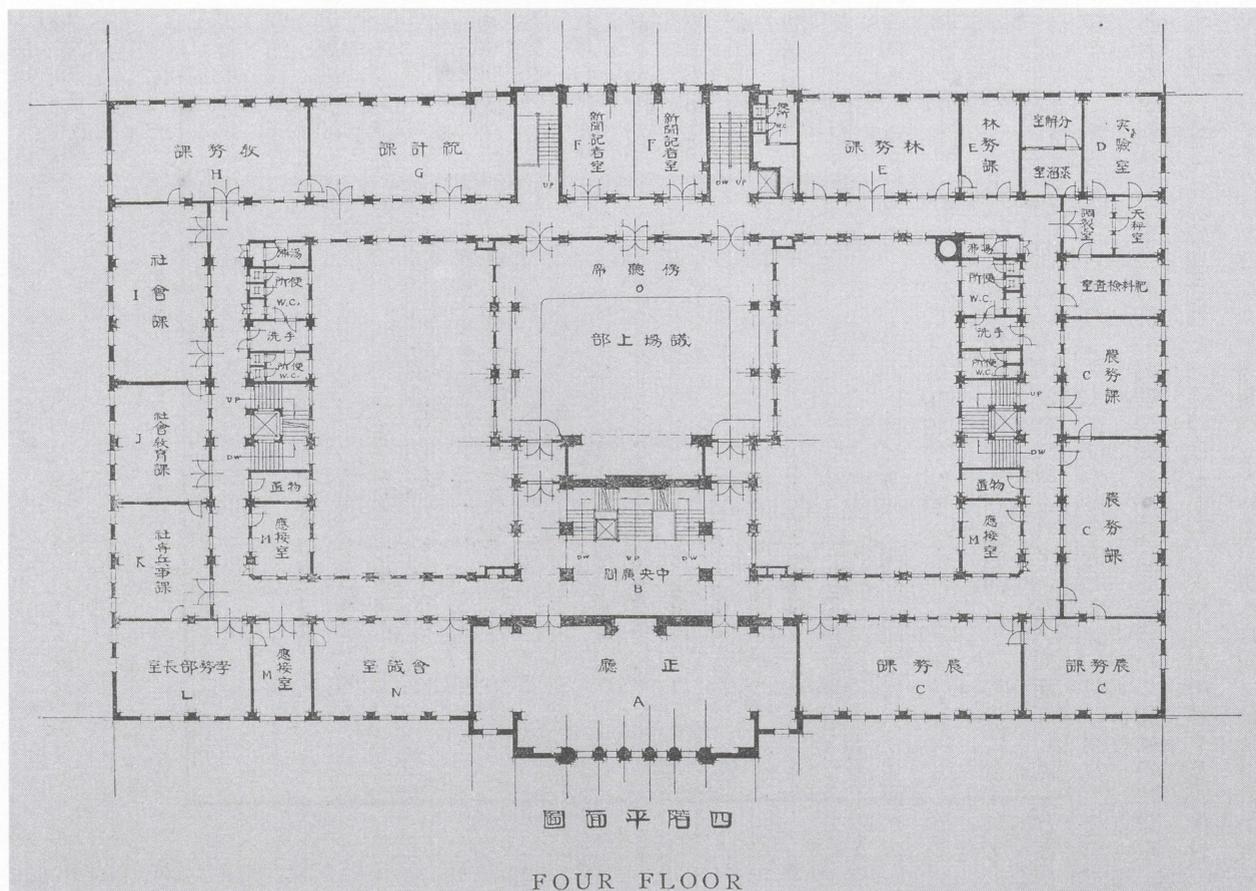


图5 四代目神奈川県庁舎四階竣工平面図 (『神奈川県庁新築工事概要』所収)

器具の中には、正庁および貴賓室のシャンデリアや正庁の裝飾灯、正面階段の陶製裝飾灯のように、実物が現存しているものも多くあり、図面が確認されたことにより、その製作過程の一端を明らかにすることができたことも一連の図面調査の成果と位置づけられよう。

続いて、スタンプの「訂正」欄に確認される記載と印にも触れておきたい。「訂正」欄には「第一」「第二」「第三」の各欄があり(図1-2参照)、表1の「備考」欄に見られるように九点の図面の「第一」欄に「275」などの数字の記載が、四二点の図面の同欄に印がそれぞれ確認された。確認された記載や印のうち、「275」は「昭和2年7月5日」を意味し、図面の訂正を行った日時を、「渡邊」ほかの印は図面の訂正を行ったか訂正を承認した担当者で見なすことができよう。印は判読不能な二点を除く四〇点すべてが渡邊利雄のものであった。さらに細かく見ていくと、「訂正」欄に図面訂正日時と思われる数字が記載されている九点の図面はすべて構造図であり、うち四点の図面は「主任」欄に佐野利器のサインが据えられた図面であった。また、「訂正」欄に印が捺された四二点の図面は、すべて意匠詳細図であった。これらの記載と印から、図面の訂正過程の一端や渡邊利雄の意匠図への関与の大きさを見て取ることができるとはなからうか。

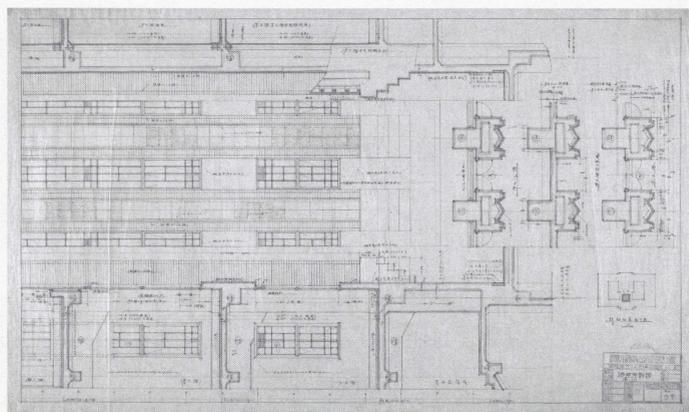


図 6-1 塔屋矩計図 (其ノ一) (目録No. 64)

最後に、佐藤嘉明氏が図面担当者の考察に利用した大林組所蔵の四代目県庁舎実施設計図のマイクロフィルムについて簡単に触れておきたい。これらのマイクロの複写は、佐藤氏より神奈川県にも提供されており、その内容を

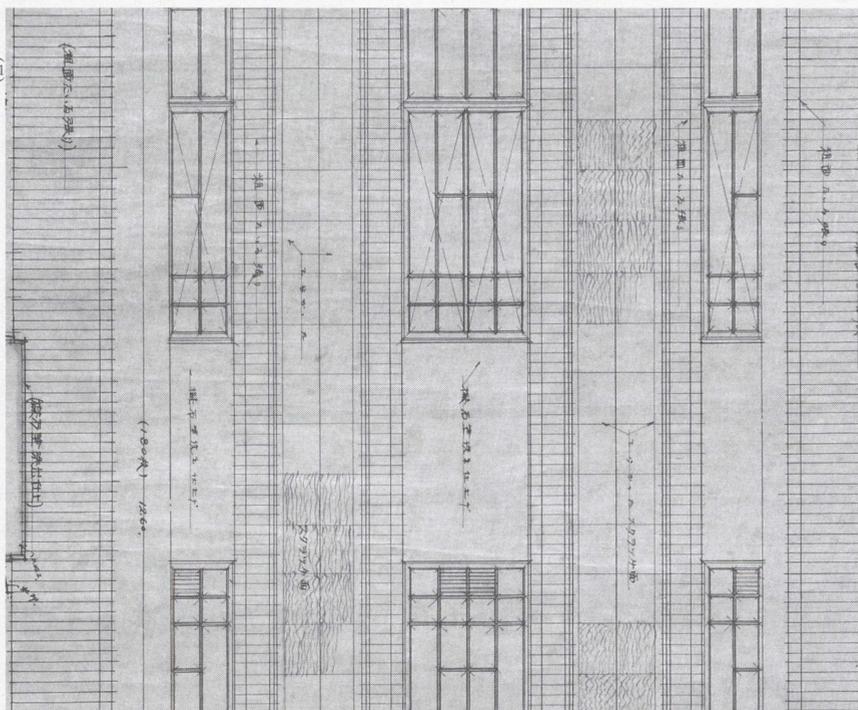


図 6-2 図 6-1 部分拡大 (時計まわりに 90 度回転)

を知ることができ(2)。表1の「大林組所蔵」欄に○印を付した図面が大林組マイクロに収められている図面で、その点数は合計一五八点に及ぶが、これら一五八点は神奈川県が所蔵する本図面群二三〇点に含まれていない図面のみで構成され、本図面群に含まれていない図面は一点も存在しない。筆者が確認したのはマイクロの複写物ではあるが、紙の汚れや折れなどの状態が本図面群の実物図面と比較してまったく同様の特徴を示していることが確認された。このことから、大林組が所蔵する四代目県庁舎のマイクロフィルム版図面は、大林組がある時期に神奈川県が所

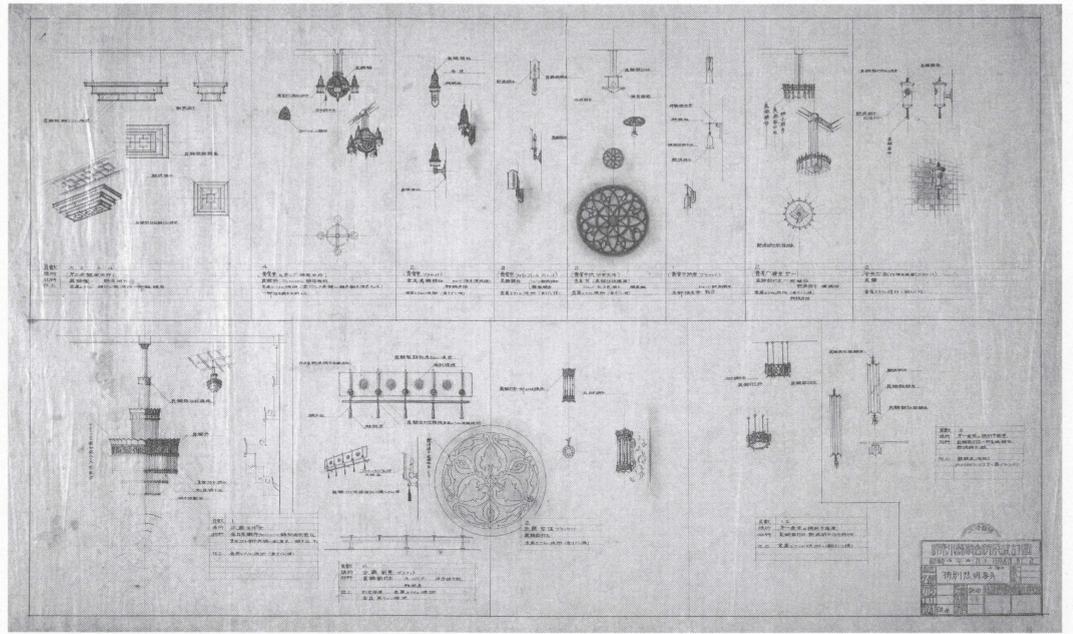


図 7-1 特別照明器具 (昭和3年3月1日付) (目録No.156)

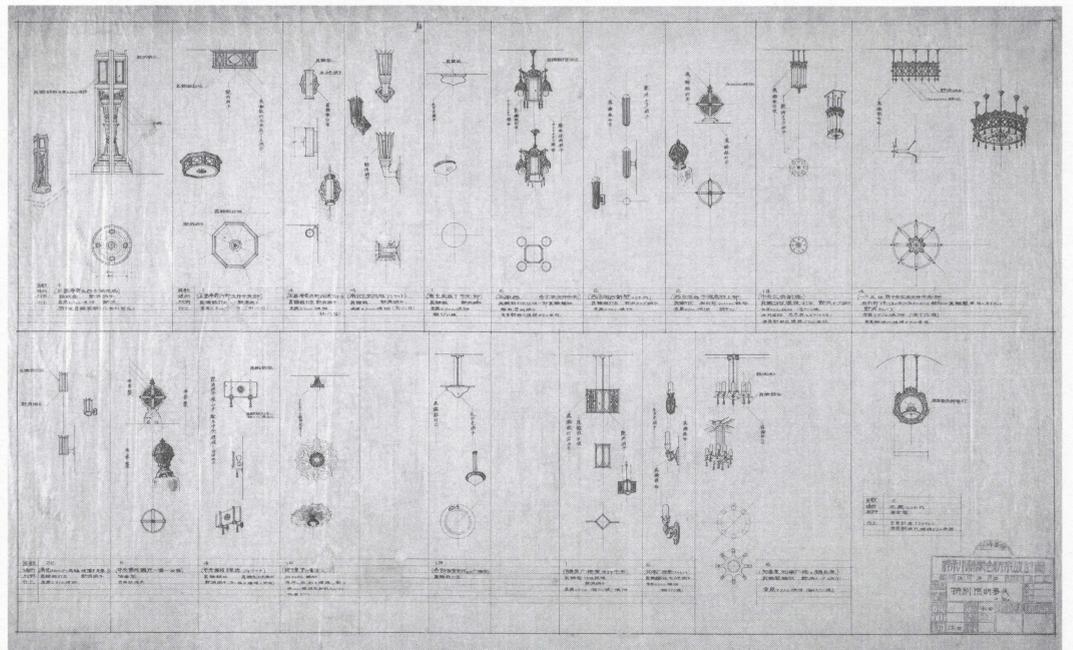


図 7-2 特別照明器具 (昭和3年3月3日付) (目録No.157)

蔵する図面を原本として作成したものと考えることができよう。
おわりに

以上、本図面群の整理過程と調査の成果を反映させた完成版目録を紹介

調度品が現在まで非常によく保存されていることも大変興味深い。建物竣工から約九十年が経過する中で、正庁をはじめ当初の内装が失われてしまった部屋も存在するが、本図面群はそうした各室の将来的な復元にも活用することができる資料となろう。四代目神奈川県庁舎に関する歴

介し、図面作成に関与した県庁舎建築事務所スタッフの人物特定と図面記載内容について若干の考察を行ってきた。本稿では、個別の図面に関する詳細な分析を行うことはできなかったが、本図面群の概要を把握し、その特徴を示すことはできたものと考えている。一三〇点からなる本図面群は、言うまでもなく四代目神奈川県庁舎の建築を知る上で最も基本となる資料であり、整理の過程において主要室をはじめとする各室の詳細な図面が作成され、その六割から七割程度が現存している良質な資料群であることが確認された。また、本図面群にもとづき建築工事が行われたことは、施工者であった大林組が所蔵する竣工写真群からも明らかであり、貴賓室（現第3応接室）や議場（現大会議場）などは、その竣工当時の内装や

史的資料としてだけでなく、将来的な各室の復元など今後の保存活用にも資する現用資料としての価値を有する本図面群の調査研究を継続・深化させることが筆者に課せられた課題であることを再確認して擲筆したい。

註

- (1) 神奈川県立歴史博物館編集・発行『キングの塔』誕生！―神奈川県庁本庁舎とかながわの近代化遺産―(特別展図録、二〇一三年)、六四―八三ページ。
- (2) 石田潤一郎『都道府県庁舎―その建築史的考察―』(思文閣出版、一九九三年)。
- (3) 大村巳代治「府県庁舎建築資料」(『建築学会大会論文集 昭和十二年三月、一九三六年三月、二九二―三〇〇ページ』)。
- (4) 神奈川県編(山口栄蔵監修)『本庁舎建設六十周年記念 神奈川県庁物語』(神奈川県出納局、一九八九年)。
- (5) 佐藤嘉明『私家版 近代建築史断章 建築家・小尾嘉郎物語―神奈川県庁本庁舎の原設計者―』(私家版、二〇〇三年)、同『神奈川県庁本庁舎と大正・昭和初期の神奈川県営繕技術者に関する建築史的研究』(横浜国立大学提出博士論文、二〇〇六年)。
- (6) 佐藤前掲博士論文、一〇七ページ。
- (7) 瀬口哲夫『官庁建築家 愛知県営繕課の人々』(C&D出版、二〇〇六年)。瀬口氏は、本書で愛知県公文書館が所蔵する愛知県庁舎の図面の設計分担表を作成するとともに、関係した同県営繕課職員の履歴を丹念に紹介している。
- (8) 前掲『神奈川県庁物語』では、表紙および裏表紙に議場詳細図の部分図を使用し、一三四―一四五ページの「竣工写真集」にも照明器具の図面が部分的に掲載されているが、それらの出典等は明記されていない。
- (9) 『神奈川県職員録(大正十五年五月一日現在)』(神奈川県立公文書館所蔵、七三ページ)。
- (10) 『神奈川県職員録追録(大正十五年十一月十三日現在)』(神奈川県立公文書館所蔵、一八―一九ページ)。なお、引用にあたっては、佐野・松井・渡邊・池部の

自宅住所の記載は省略した。

- (11) 『神奈川県職員録(昭和三年五月一日現在)』(神奈川県立公文書館所蔵)、四〇―四一ページ。なお、引用にあたっては、桑原・佐野・渡邊・池部の自宅住所の記載は省略した。
- (12) 「大正十五年 官吏進退記」(神奈川県立公文書館所蔵、県各課1・2・14)、および佐藤前掲博士論文、六六ページ。
- (13) 「昭和二年 官吏進退記」(神奈川県立公文書館所蔵、県各課1・2・21)、および佐藤前掲博士論文、一〇四ページ。
- (14) 「昭和四年 官吏進退記」(神奈川県立公文書館所蔵、県各課1・2・31)、および佐藤前掲博士論文、一一七ページ。
- (15) 佐藤前掲博士論文、一一七ページ。
- (16) 小尾嘉郎の署名が確認される図面が一点のみであることは、すでに佐藤嘉明氏が指摘しており(佐藤前掲博士論文、一八一ページ)、筆者も本整理第一段階の調査で再確認している(前掲特別展図録、三二―三三ページ)。
- (17) 鳥井信の履歴については佐藤前掲博士論文一〇四ページ、桑原栄治の履歴は同一一七―一八ページ、渡邊利雄・池部宗薫の履歴は同一二三ページをそれぞれ参照のこと。
- (18) 堀勇良氏の指摘は、堀勇良「日本大通の震災復興」(財団法人横浜産業振興公社企画・発行『横浜商工奨励館』、一九九七年)、一九ページ、佐藤嘉明氏の考察は、前掲特別展図録、一一―一二ページによる。
- (19) 正面階段の陶製裝飾灯は『建築土木資料集覧』昭和四年版、八五ページに、正庁シャンデリアは同昭和六年用、四六〇ページに、貴賓室シャンデリアは同昭和八年用、三二六ページにそれぞれ図版が掲載されている。これらの情報は、沼尻健彦氏からのご教示によるものであり、同氏に感謝申し上げる次第である。
- (20) 『神奈川県庁新築工事概要』(神奈川県立公文書館所蔵)、四ページ。
- (21) 佐藤嘉明氏が神奈川県に提供した大林組所蔵の四代目県庁舎マイクロフィルム図面の複写は、「神奈川県庁舎新築設計図(大正十五年)他」の名称で製本され、神奈川県総務局財産経営部庁舎課にて保管されている。